Young Warehouse

倉青協創立50周年記念誌

倉庫業青年経営者協議会

50 ANNIVERSARY

1973-2023

倉庫業青年経営者協議会

CONTENTS

02 CHALLENGE BUILDS THE FUTURE
挑戦が未来を創る

04 創立50周年を迎えて
倉庫業青年経営者協議会 第24代会長 ごあいさつ
歴代会長(1～24代・1973～2023)

06 倉庫業青年経営者協議会50周年に寄せて
国土交通省公共交通 物流政策審議官　鶴田　浩久
一般社団法人日本倉庫協会 会長　久保　高伸
日本倉庫経営者倶楽部 会長　峯島　一郎

08 倉庫業青年経営者協議会のあゆみ
1973～2013

16 倉青協50周年記念座談会
CHALLENGE BUILDS THE FUTURE

20 この10年のあゆみ
第20代会長(2013.6～2015.6)　曽根　和光
第21代会長(2015.6～2017.6)　太宰　榮一
第22代会長(2017.6～2019.6)　池田　雅一
第23代会長(2019.6～2021.6)　野口　英徳
第24代会長(2021.6～2023.6)　富永　太郎

40 未来へのバトン
Letter to the future
植樹から10年　成長の足跡 ～歴代会長による東北訪問～
倉青協の歴史と未来をつなぐシンボル

46 See it visually
ビジュアルで見る倉青協2023
東日本エリア
西日本エリア

50 全国開催地MAP

Young Warehouse

倉庫業青年経営者協議会のシンボルマークは、会員意識の高揚と会員以外の方からも親しまれることを目的に開発されました。
ヤング(YOUNG)・ウエアハウス(WAREHOUSE)の頭文字と「Y」と「w」を使用し、「清新さ」「若々しさ」をモチーフにグラフィックデザイナー金原明彦氏がデザインを手掛けてくださいました。

CHALLENGE BUILDS THE FUTURE

挑戦が未来を創る

業界のレベルアップ、産・官連携による“倉コミュニケーション”

倉庫業青年経営者協議会（以下・倉青協）は、2023年5月に創立50周年を迎えました。
50歳以下の倉庫経営者が、「親睦と勉強」という理念の下、全国各地から集い、課題や悩みを共有し、切磋琢磨しながら、共に成長してきました。
こうした倉青協の活動の根幹は創立より変わることなく、世代を超えて、脈々と受け継がれています。
この10年を振り返ると、EC市場の急成長による大型物流施設の建設ラッシュやスマートフォンの急激な普及によるDX化など、倉庫業を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。また、従来の課題である人手不足や小ロット対応、作業・輸送効率の悪化を同時に解決していかなければなりません。
加えて、2020年からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響で、これまでの常識が世界規模で一変し、生活様式や働き方など、さまざまな変更を余儀なくされました。
一方で、エッセンシャルワーカーとして、倉庫業の社会的価値が広く再認識されてきており、物流のデジタル化や構造改革を加速度的に促進する好機と捉えることもできます。
私たち倉青協は、日本の未来を支えるインフラストラクチャーとしての誇りと責任を胸に、幾多の困難を乗り越えてきた諸先輩方の知恵を借りることで歴史を大切にしつつ、時代に求められる倉庫業の在り方を追求し、これからも変化と挑戦の歩みを続けてまいります。

活動理念「親睦と勉強」

1973年の創立以来、倉青協を貫く理念は「親睦と勉強」です。当時、日本はオイルショックに端を発し、高度経済成長が終わりを告げ、景気悪化と財政悪化という国難の様相を呈していました。国家の隆盛を憂う倉庫業青年経営者有志たちの間では、新たな業界のあり方を模索し、既存の活動とは異なる新団体結成の機運が高まっていました。
各地の有志たちは、新組織について
①全国組織であるため、まず会員同士が知り合い、意思の疎通を図ること
②経営者としての研鑽、倉庫業の勉強を中心として、幅広い資質の向上を図ること
こそが互いの志であると確認し合いながら同志を募り、これが創立以来、当協会を貫く「親睦と勉強」の理念となりました。
当協会についての初期メンバーの言葉に、「互いに血の通った相互補完の関係を保つための組織であり、物流革新下の倉庫業の将来のあるべき姿について、若者同士の模索の場である」とあります。それは奇しくも、リーマンショック・欧州債務危機・東日本大震災をはじめとした、経済的に困難な状況下の今日のわれわれの課題となんら変わるものではありません。当協会には、協会組織としては他に類をみない、互いの共通課題を率直に話し合える風土があります。会員同士の連帯意識が緊密で、「何でも腹を割って話せる」という文化的な特色があります。これは創立以来、歴代の先輩たちからの貴重な財産であり、当協会の最も重要な文化と言っても過言ではありません。

活動内容

年1回、総会が東京で、また、年2回の全体会が地方で行われています。総会や全体会では、有識者による講演や同業者の事例研究を行い、「勉強」をしています。全国各地で開催される全体会は、地方幹事の創意工夫がこらされて多彩な催しが企画され、「親睦」の一助となっています。
会員のみならず、会員企業の社員も参加して行われる「企業交流会」では、各種物流施設の見学をはじめとして、社員に幅広い見識を培いたい会員の希望により、異なる業種の施設見学も積極的に行われています。見学の後には、グループワークや討論会によって交流や相互理解を深める活動をします。近年は、実務に即した政策への提言を積極的に行おうと、国土交通省の物流政策担当との情報意見交換にも取り組んでいます。
さらには会員同士の自主的な勉強会や親睦会、異業種との情報交換会、地方ごとの会員による勝手連的な新規会員掘り起こし活動や、既存会員の結束を強める活動など、常に革新と変化を求める「若手経営者」らしく、パワフルで、既存の枠にとらわれない活動が、各方面で活発に行われています。

倉青協メンバーが共同で設立した会社

トランクルームの押入れ産業
TEAM SOLUTION
R-link

1973

倉庫業青年経営者協議会
第24代会長
富永太郎
福岡倉庫株式会社　代表取締役社長

2023

倉庫業青年経営者協議会

創立50周年を迎えて

倉庫業青年経営者協議会は1973年5月18日の設立総会から、50周年の節目を迎えました。この素晴らしい組織を立ち上げられ、監督官庁や日本倉庫協会等と連携しながら、今日まで発展に尽力された先輩諸氏には心から感謝を申し上げます。

50周年の記念事業として、3月に三重県の高倉神社にて、倉青協関係者の末永い繁栄と安全を願い、植樹と石碑の設置をさせていただきました。毎年7月13日の倉暉祭に参加される方もいらっしゃると思います。足を運ばれた際には、是非ご覧ください。

初代鈴木又右衛門会長から引き継がれる「親睦と勉強」と言う理念は、端的にこの組織の活動を表現しています。そして、勉強する課題は、事業の発展とオーナーシップの継続に収斂されます。古くからある問題として、株の継承や社内コミュニケーションのあり方。最近の問題としては、労働力不足や2024年問題への対応など。課題としては認識しているものの、自社としては対応が不十分であり煩悶しているとき、先んじて手を打っていてリアルな成功体験や失敗体験を惜しげもなく共有してくれて、切磋琢磨できる仲間がいることは、企業経営者としてこの上ない財産です。私自身も29歳で社長になり、20数年が経過しました。様々な経営課題に直面する中、今考えると非常に浅はかであったと反省することも多々あります。手法として、ベストでは無い選択をしたこともあったと思います。しかしながら、結果的には会社を変化させ、発展させることができています。それは、私には倉青協の仲間がいたからと確信しています。直接的・間接的な助言を何とか自分なりに解釈して、自社の状況を鑑みながら愚直に取り組みを続けてきました。その積み上げの結果であると考えます。

新型コロナウイルスの影響で、直近3年間は倉青協の活動も大きく制約されました。一方、倉庫業・物流業は事業継続が強く求められ、その社会的責任を強く認識する機会となりました。倉庫業の仕事を心から誇りに思います。この気持ちを、この業界で働く人々ともっともっと共有していきたい。このことが、業界の魅力を社会に伝播させる礎です。

倉庫業界において、倉青協は道しるべです。今後ともその発展に貢献していきたいと思います。私自身も、「変化　変化　変化！」の気持ちで、進化し続けていきます。現役会員が素晴らしい経営者に成長し、世代を超えた仲間であり続けることを願います。

歴代会長（1～24代・1973～2023）

初代（1973.5～1977.5） 「親睦と勉強」 鈴木　又右衛門 太成倉庫株式会社	第2代（1977.5～1979.6） 「親睦と勉強＋助け合い」 河野　鐵雄 湘南倉庫運送株式会社	第3代（1979.6～1981.6） 「協業」 古川　浩司 芸備倉庫株式会社	第4代（1981.6～1983.6） 安田　肇 大黒倉庫株式会社
第5代（1983.6～1985.6） 「道は一つ共に進もう」 清水　修一郎 中京倉庫株式会社	第6代（1985.6～1987.6） 「倉庫業を見直そう」 西尾　忠朋 株式会社西尾倉庫	第7代（1987.6～1989.6） 「倉庫業の明日を目指して」 小泉　駿一 第一倉庫株式会社	第8代（1989.6～1991.6） 「元気のでる倉庫業へ」 山本　信彦 小樽倉庫株式会社
第9代（1991.6～1993.6） 鈴木　威雄 株式会社富士ロジテック	第10代（1993.6～1995.6） 末長　範彦 岡山土地倉庫株式会社	第11代（1995.6～1997.6） 「倉庫業の未来に夢を語ろう」 大竹　広明 三信倉庫株式会社	第12代（1997.6～1999.6） 「倉庫会社の生き残り戦略」 眞鍋　博俊 株式会社博運社
第13代（1999.6～2001.6） 「希望の持てる二十一世紀の倉庫業を見据えて」 森本　啓久 森本倉庫株式会社	第14代（2001.6～2003.6） 「明るく改革する倉庫業を見据えて」 黒川　久 東邦運輸倉庫株式会社	第15代（2003.6～2005.6） 「会員会社の企業規模での交流」 樋口　恵一 川崎陸送株式会社	第16代（2005.6～2007.6） 「明るく改革する倉庫業を見据えて」 社本　光永 福玉精穀倉庫株式会社
第17代（2007.6～2009.6） 「親睦と勉強、真面目な倉庫業」 鈴木　篤 太成倉庫株式会社	第18代（2009.6～2011.6） 「倉庫業の明日を創造する」 淺野　邦彦 淺野運輸倉庫株式会社	第19代（2011.6～2013.6） 「Action for next stage!」 醍醐　正明 醍醐倉庫株式会社	第20代（2013.6～2015.6） 「NO 倉庫、NO LIFE!」 曽根　和光 株式会社ダイワコーポレーション
第21代（2015.6～2017.6） 「SOKO goes on!!」 太宰　榮一 株式会社白石倉庫	第22代（2017.6～2019.6） 「温故知新」 ～50周年とその先の未来に向かって～ 池田　雅一 東京倉庫運輸株式会社	第23代（2019.6～2021.6） 「物流業 変革と挑戦」 物流業のイノベーション 野口　英徳 野口倉庫株式会社	第24代（2021.6～2023.6） 「変化　変化　変化！」 富永　太郎 福岡倉庫株式会社

Congratulatory Message

倉庫業青年経営者協議会

創立50周年に寄せて

国土交通省
公共交通物流政策審議官
鶴田 浩久

倉庫業青年経営者協議会が創立50周年を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。
貴協議会は、昭和48年の創立以降、協議会のお名前どおり、若く、柔軟な発想をもって日々の業務に邁進され、倉庫業界の発展を通じて、日本経済の成長と国民生活の向上に寄与してこられました。ここに深く敬意を表する次第です。
我が国の物流は、生産から消費に至る一連の経済活動を支え、国民生活と経済成長にとって不可欠な社会インフラであり、倉庫業は、サプライチェーンの結節点として重要な役割を担っています。
生産年齢人口の減少や担い手不足、災害の激甚化・頻発化等、物流を取り巻く様々な課題があるなかで、機械化・省人化や脱炭素化を目指す物流DX・GX等により課題を克服し、物流の生産性を向上すべく、貴協議会におかれましては一層ご活躍を頂くことを期待しております。
また、大規模災害において被災地への緊急物資輸送を支えるなど、災害に強い物流システムの構築にも貢献いただいており、切迫する巨大地震等に備え、引き続きのご協力が不可欠と考えています。
我が国の経済・社会において倉庫業に期待される役割が益々増大する中で、倉庫業界の若き主軸となる貴協議会におかれましても、物流サービスの向上と公共性を有する倉庫業としての使命達成に向けて、益々ご奮闘されることを期待しております。
最後に、貴協議会のさらなるご発展と会員各位のご隆盛を心から祈念致しまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。

一般社団法人日本倉庫協会会長
久保 高伸

倉庫業青年経営者協議会が創立50周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。
貴協議会は昭和48年の創立より、倉庫業に携わる若手経営者が集結し、今日に至るまでの会員事業者からの厚い信頼と地域社会との共生を基に、地元倉庫業の成長・発展を通じて、経済に多大な貢献をしてこられました。このご功績に、深く敬意を表する次第です。
近年、国土交通省・経済産業省・農林水産省が連携して持続可能な物流の実現に向けた検討会が行われていることに代表されるように、政府においても物流の重要性が広く認識されてきていると共に、その物流を取り巻く環境は厳しさを増しております。物流業界には深刻化する労働力不足を克服し、変化を続ける消費者ニーズに対応して、将来に亘って安定したサプライチェーンの維持・発展を図る重要な役割が求められています。また、環境対応や、DXといった新たな課題にも直面しております。こうした状況にあって、私ども日本倉庫協会は貴協議会と連携し、環境変化に対応し時宜に適った会員事業者支援策の拡充に努めてまいる所存です。貴協議会におかれましては、この節目の年を新たな起点として、倉庫業の更なる成長・発展に向けて、倉庫業の次代を担う若い力をもって一層の指導力を発揮されますことを期待いたしております。
最後に、倉庫業青年経営者協議会の益々のご発展と会員事業者の皆様方のご健勝を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

日本倉庫経営者倶楽部会長
丸八倉庫株式会社
代表取締役社長
峯島 一郎

倉庫業青年経営者協議会(倉青協)創立50周年誠におめでとうございます。私は現在倉青協を卒業された方々49社で構成される日本倉庫経営者倶楽部(経営者倶楽部)の会長を務めております。
経営者倶楽部は倉青協で知り合い卒業した仲間たちが親交を温める会です。東京で行う新年会と総会で講演会と懇親会、他に地方視察旅行を行っております。
経営者倶楽部は居心地がとても良い会です。全員が倉青協卒業で長年「親睦と勉強」を通して知り合った仲間でまるで同窓生のようです。
この印象は倉青協に長く在籍した方だけではなく、倉青協の現役時代にあまり参加していなかった人も感じているように思います。
倉庫業は他の業種と比較して同業者間の関係が良い業界だと思いますが、その中で全国の方々と親しく交流できている方は稀だと思います。それが普通にできる倉青協は有難い会だと思います。
先日亡くなられた某先輩が倉青協全体会でお米の管理について講演をされたのを覚えています。お米に関するご自身の経験を余すところなく披露され、管理ノウハウについて詳細な冊子も頂きました。その講演で災害時大変な時、倉青協の仲間に保管場所の提供で助けられたとのお話しを伺いました。
先の阪神淡路大震災、東日本大震災の際も同様であったと記憶しています。
これからも倉青協が業界で輝く存在であることを願っております。そして卒業後は日本倉庫経営者倶楽部への入会をお待ちしています。

倉庫業青年経営者協議会のあゆみ

Since 1973

「親睦と勉強」テーマに倉青協が発足

1973年5月、全国から50歳以下の倉庫経営者120人が集まり、日本倉庫協会と連携しながら明日の倉庫業を若い力で造り上げようと「倉庫業青年経営者協議会」が設立されました。初代会長に就任した鈴木又右衛門会長が掲げたテーマが「親睦と勉強」です。当時倉庫業は物流合理化のほか、コンピュータシステムの導入や荷役の機械化など時代の要請に対応することが求められていました。設立からまもなく、76年には倉青協有志による「日本縦貫倉庫グループ」が発足します。全国規模のサービスを提供するために中堅倉庫会社の協業を目指したもので、倉青協は同業者によるネットワークの重要性をいちはやく認識していたといえます。

■全体会・総会の記録

1973（昭和48）

5.18 設立総会　東京（パレスホテル）
運輸省 佐藤 政務次官　日倉協 竹内 会長
東倉協 八十島 会長　運輸省 増田 倉庫課長

7.20 第1回全体会　大阪（ロイヤルホテル）
運輸省 増田 倉庫課長
「広い心、受け入れる心、柔らかい心の
三つの要素を忘れずに会の運営に当たってほしい」

10.5 第2回全体会　東京（ホテルニュージャパン）
運輸省　増田 倉庫課長「倉庫の集団化」
中小企業金融公庫　河野 次長「倉庫業における金融について」

1974（昭和49）

2.8 第3回全体会　名古屋（都ホテル）
東海海運局　山田 運航部長「今後の倉庫業のあり方」

5.14 第2回総会/第4回全体会 東京（東京会館）
運輸省　増田 倉庫課長「48年度間に於ける報告事」「49年度行政方針について」
河野　参議院議長「一隅を照らすこれ国宝」

7.18 第5回全体会　石川（片山津 矢田屋）
日倉協　岡田 専務理事　「日倉協活動状況及び強化について」
西川 流通委員長　「国鉄問題について」
前田 財務委員長　1「景気見通しへの指標として」／2「日倉協財務委員会について」
3「これからの倉庫経営について」

10.23 第6回全体会　神戸（神戸国際ホテル）
運輸省　増田 倉庫課長　1「倉庫整備5カ年計画の推移について」／2「料金改定問題」
3「税制、金融、財投について」／4「物流行政の指向」
大阪港湾福利厚生協会　川田 理事「経営者に望むこと」

1975（昭和50）

3.14 第7回全体会　福岡（博多東急ホテル）
早稲田大学　中西 教授「転換期に於ける倉庫業について」
運輸省　増田 倉庫課長

5.21 第3回総会/第8回全体会　横浜（横浜ホテルニューグランド）
国旗協会　平田敬量 常任理事

7.21 第9回全体会　仙台（仙台作並グリーングランドホテル）
運輸省　近藤倉庫課長
「これからは低成長が通説になる。現業者は物流に対する対処は正しいか質的な面で考え直す必要がある」

11.1 第10回全体会　沖縄（沖縄不二ホテル）
日本銀行那覇支店　河野支店長「沖縄復帰後の経済」

1976（昭和51）

2.13 第11回全体会　広島（広島グランドホテル）
蚕糸倉庫　花井 社長「全体会映画」
鈴木 会長　1「遠隔地間での業務提携」／2「物流の中心は倉庫業である」

5.28 第4回総会/第12回全体会　東京（ホテルニューオータニ）
河野 参議院議長　1「事業は環境によって育ち人によって滅ぶ」
2「日本に大事なことは食料問題だ。今日あって明日の保証はない」
3「サビは鉄から出て鉄を滅ぼす」／4「体育 知育、徳育、体に財を蓄える」

7.20 第13回全体会　札幌（札幌全日空ホテル）
日倉協　高味 常務理事　1「損害賠償の問題について」／2「料金問題について」
3「税金問題について／4「金融面について」

10.29 第14回全体会　京都（京都グランドホテル）
早稲田大学　中西 教授「レポートによるアメリカの倉庫協会」
京都大学天文学博士　宮本 名誉教授

1977（昭和52）

2.18 第15回全体会　別府（別府杉の井ホテル）
日倉協　岡田 専務理事　1「料率実施委員会の組織の強化」／2「物流について」
大分市　佐藤 市長「現在の経済情勢及び大分市の現況について」

5.20 第5回総会 第16回全体会　東京（パレスホテル）
運輸省　石井一 政務次官「空港問題、国鉄問題について」
運輸省　坪井倉庫課長「業界のあるべき姿について」

7.22 第17回全体会　岐阜（長良川ホテル）
西濃運輸株式会社　田口 社長「私の経営路線、理念について」
日倉協　高味 専務理事「53年度種別財政融資について」
運輸省　坪井 倉庫課長「業種展望並びに将来予測について」

11.9 第18回全体会　奈良（菊水楼）
日倉協　高味 専務理事「日倉協の動向について」
薬師寺管主　高田 好胤 氏「南方諸島戦没者慰霊法要の土産話」

■一般社会・物流の動き

1973
1月　パリでベトナム和平協定調印
2月　円、変動相場制へ移行
4月　春闘で史上初の交通ゼネスト
10月　第一次オイルショックでトイレットペーパーパニック
12月　政府が石油緊急対策要綱決定

福山通運が北九州支店に導入したトラック業界初の自動仕分

1974
2月　公取委が石油元売12社の生産・価格カルテル破棄を勧告
4月　東京 旧赤坂離宮を改修した迎賓館完成
5月　環境庁がディーゼル車にも排ガス規制
8月　三菱重工ビル爆破事件
◆　インフレと物不足が深刻化

1975
3月　山陽新幹線が博多までの全線開通
7月　沖縄国際海洋博開幕
8月　大手繊維メーカーの興人が1500億円の負債で倒産
11月　公労協「スト権スト」に突入
192時間にわたり国鉄全線マヒ
◆　物流業者が流通加工業に積極的進出

急増する輸出荷物で賑わう横浜港

1976
2月　ロッキード事件発覚
3月　運輸省が新倉庫整備5ヵ年計画を策定
11月　国鉄貨物運賃 53.9% 値上げ
◆　荷主が物流子会社設立に動く
◆　小口貨物輸送、内航海運の見直し
◆　共同配送の具体化へ
◆　物流業界の不況が長期化
◆　国鉄運賃の大幅値上げに伴い荷主の国鉄離れ進む
◆　日本縦貫倉庫グループ誕生
◆　運輸省がボックスパレット推進へ

1977
5月　領海12海里、200海里漁業水域設定法案が国会通過
経営危機で安宅産業が伊藤忠商事と合併
6月　3年8ヶ月ぶりに、円相場が1ドル270円を割る
◆　不況長期化で倒産件数が増加に
◆　国鉄貨物量の大幅減少
◆　各種公定料金の値上げ相次ぐ
◆　「小口宅配貨物」に人気集中

■全体会・総会の記録

1978（昭和53）

2.23 第19回全体会　浜松（浜松グランドホテル）
静岡経済研究所　山崎 部長「経済情勢の現状と将来展望」

6.14 第6回総会/第20回全体会　東京（パレスホテル）
運輸省 坪井 倉庫課長　1「物流全般について」
2「物流子会社に対する問題」
3「自家用倉庫と営業倉庫の考え方」
小此木 参議院議員「一般情勢及び国会内に於ける委員会の活動状況審議成立等」

8.25 第21回全体会　箱根（箱根プリンスホテル）
花王石鹸株式会社　山越 専務取締役
1「物流の問題 花王のシステムについて」／2「倉庫としての流通設計システムをもっているか」

10.27 第22回全体会　神戸（神戸商工会議所）
日倉協　高味 専務理事　1「倉庫業法改正について」／2「消費税について」

1979（昭和54）

3.15 第23回全体会　高知（三翠園ホテル）
「日倉協報告」1.国際倉連、香港大会／2. 倉庫業海外視察団、今年はヨーロッパを予定
3.中国から倉庫視察団が来日

6.14 第7回総会/第24回全体会　東京（パレスホテル）
循方彰 元NHK 解説委員長
「アメリカ、ソビエトの軍需力、平和共存、現在エネルギー問題となっている石油の輸出入等について」

8.30 第25回全体会　岡山（国際ホテル）
岡山大学法文学部　福田 部長「中華人民共和国と台湾等を旅してみた古い中国」

11.18 第26回全体会　京都（都ホテル）
松尾寺住職　松尾 心空師「人間はこの世の間借り人である」

1980（昭和55）

3.28 第27回全体会　宮崎（サンホテルフェニックス）
自民党農林水産部　近藤 会長
「現在の政治情勢、予算編成の問題点、食管制度その他の社会問題について」

5.28 第8回総会/第28回全体会　東京（パレスホテル）
日本国有鉄道　高木 総裁
「現在の国鉄に於ける特異な体質、これからの国鉄の経営方針等について」

8.8 第29回全体会　静岡（修善寺グランドホテル）
修善寺町文化財保護委員会　長倉氏

11.17 第30回全体会　横浜（横浜プリンスホテル）
NHK アナウンサー　鈴木 文弥 氏「スポーツ界での指導者から教わったこと、見て感じたこと」

1981（昭和56）

2.26 第31回全体会　鳥羽（国際ホテル）
神宮司庁　佐藤 昭典 神宮官掌「神宮をささえるもの」
矢野憲一 神宮権弥宜・佐藤 昭典 神宮官掌「1500年つづくもの」

6.17 第9回総会/第32回全体会　東京（パレスホテル）
新赤坂クリニック　松本康夫 院長「攻めの健康法、守りの健康法」

8.28 第33回全体会　名古屋（名古屋観光ホテル）
名古屋商工会議所　三宅 重光 会頭「オリンピックについて」

11.20 第34回全体会　広島 広島グランドホテル
マキ・レディス・トレーニングルーム　菅原マキ 氏「経営者のための健康体操」

1982（昭和57）

3.5 第35回全体会　熱海（大月ホテル）
東京芝浦電気株式会社　鬼頭明 物的流通部長

6.24 第10回総会/第36回全体会 東京（パレスホテル）
東レ株式会社 物流担当　堀江 理事

8.7 第37回全体会　仙台（三井アーバンホテル）
山田新作 氏「リーダーシップ」真珠湾特攻体験を通じて

11.18 第38回全体会　富山（富山第一ホテル）
北陸経済研究所　杉木正享 常務理事「これからの経営課題について」

グローバルな視点を倉庫業に導入

設立当初の倉青協の活動の中で、注目すべきなのが海外研修です。初の海外研修を77年に行い、78年にはヨーロッパ視察とアテネでの国際倉庫協会連盟（IFWLA）にオブザーバーとして14人が出席しました。歓迎を受けた一行は、翌年には香港大会に出席するよう要請を受けます。帰国後、日倉協のIFWLAへの参加を働きかけ、日倉協に国際委員会が発足することになりました。そして83年にはIFWLA総会が日本で開かれることになります。
昨今、製造業の海外シフトによるグローバル化、ボーダレス化が加速し、倉庫業の対応が課題となっていますが、倉青協は設立まもない頃からグローバルな視点を持っていたことは興味深いことです。

■一般社会・物流の動き

1978
1月　円相場1ドル237円台を記録
10月には175円に
2月　大手住宅メーカーの永大産業が会社更生法申請
5月　新東京国際空港（成田）開港
◆　ユニットロード・システムの見直し

1979
1月　米・中外交関係30年ぶり樹立
5月　通産省、ガソリンスタンドの日・祝日休業の行政指導強化
6月　東京で初のサミット（先進国首脳会議）開催
7月　東名高速道日本坂トンネル火災事故で通過車両
169台炎上の大惨事
11月　第2次オイルショック

1980
4月　電力 50.8%、ガス 45.3%の大幅料金アップ
6月　憲政史上初の衆参同時選挙
9月　イラン・イラク全面戦争
12月　自動車生産台数が1,104万台で世界一に
◆　「スリップシート」が話題を呼び、研究が盛んなる
◆　「運送状に印紙貼付」を国税庁から指導要請

1981
2月　神戸ポートピア'81開幕
4月　米国有人宇宙連絡船「スペースシャトル・コロンビア」
初飛行
5月　日米自動車摩擦、乗用車の対米輸出規制
6月　運輸省が隔地間一貫輸送の規制を緩和
10月　北炭夕張炭坑火災、死者93人
12月　宅配便取扱個数が約1億個で郵便小包を超える
◆　国鉄赤字1兆円を突破
◆　物流子会社の一般荷主開拓すすむ

省力荷役の決め手としてターミナルに設置された
自動仕分け機

1982
2月　経済企画庁、GNPゼロ成長見通し
東京・ホテルニュージャパンで火災
日航機が羽田沖に墜落
4月　500円硬貨発行
6月　東北新幹線（大宮〜盛岡間）開業
11月　中央高速自動車道が全面開通
上越新幹線（大宮〜新潟間）開業
12月　行政管理庁が通運・トラック事業規制見直しを勧告
◆　在庫調整が浸透・営業倉庫の稼働率低下
◆　物流革新がハードとソフトの両面ですすむ

■全体会・総会の記録

1983（昭和58）

6.17 **第11回総会/第39回全体会** 東京（パレスホテル）
東京芝浦電気株式会社　山本直三 OA機器事業部長「オフィスオートメーション時代の物流業」

9.2 **第40回全体会** 札幌（京王プラザホテル）
トヨタカローラ札幌株式会社　高柳邦夫 取締役サービス本部長「サービス業における TQC とは何か」

11.18-19 **第41回全体会** 川崎（日本電気研修センター）
ヘルシーライフ協会　主宰 寒河江徹 氏「現代病に打ち勝つ健康法」
中京倉庫株式会社　鈴木健二 専務取締役「TQCの導入について」
日本電気株式会社　情報処理流通サービスシステム事業部　沼元康明 第一販売推進部長「C&C時代における物流業界情報化の動向」

1984（昭和59）

3.8 **第42回全体会** 静岡（静岡ターミナルホテル）
千葉商科大学商学部　水野恵司 教授「ベンチャービジネスについて」
フレッシュシステムズ株式会社　高倉衛 取締役社長「フレッシュシステムについて」

6.22 **第12回総会／第43回全体会** 東京（ホテルグランドパレス）
株式会社 G&G　松田康之 取締役社長「中小企業　VANについて」
武蔵工業大学　俵信彦 助教授「TQCの導入について」

9.1 **第44回全体会** 軽井沢（軽井沢プリンスホテル）
株式会社アトム　片岡功男 取締役社長「スシタイム・ベンチャービジネスについて」
株式会社ダイケイ　伊藤彰彦 取締役社長「新規事業分野の開発について」

11.1 **第45回全体会** 山口（宇部ゴルフ観光ホテル）
株式会社日本マーケティングセンター　船井幸雄 取締役社長「昭和60年代企業経営成功の決め手」
株式会社西友　佐久間仁 住宅用品事業部付部長「流通業における物流の現状と今後の課題」

1985（昭和60）

4.18 **第46回全体会** 大阪（千里阪急ホテル）
ミサワホーム株式会社　三沢千代治 取締役社長「住宅産業の現状と将来展望」

6.21 **第13回総会／第47回全体会** 東京（パレスホテル）

10.3 **第48回全体会** 仙台（ホテル仙台プラザ）
東京団地倉庫株式会社　西川謙一郎 取締役社長「倉庫業に未来はあるか」

1986（昭和61）

4.18 **第49回全体会** 香川（高松グランドホテル）
朝日新聞大阪本社　藤本高嶺 編集委員「チャレンジ精神を育てよう」

6.20 **第14回総会／第50回全体会** 東京（パレスホテル）
第2回TQC発表会

10.6 **第51回全体会** 神戸（三宮国際ホテル）
株式会社竹中工務店　河田剛 開発計画本部副本部長「土地の有効活用と開発動向について」
三井リース株式会社　本地本武 機会営業部第２部長「リース事業（レバリッジリース）について」
株式会社三井信託銀行大阪支店　市原賢之助 不動産部次長「資産の有効活用（不動産信託）について」

1987（昭和62）

3.12 **第52回全体会** 北海道（定山渓温泉　ホテル鹿の湯）
株式会社日通総合研究所　森田稔 専務取締役「売上税について」

6.17 **第15回総会／第53回全体会** 東京（パレスホテル）
日本電信電話株式会社　式場英 企業通信システム事業部長「高度情報社会における企業のニーズと通信の役割」

10.3 **第54回全体会** 長野（ロッジ三井の森）
懇談会「運輸省神谷補佐官と倉庫業の未来を語る会」

1988（昭和63）

3.28 **第55回全体会** 福岡（ホテルニューオータニ博多）
江頭光 氏「新博多史　三つの出来事」

6.24 **第16回総会／第56回全体会** 東京（パレスホテル）
東京大学工学部都市工学科　伊藤滋 教授
「東京ウォーターフロントに関して」（首都圏並びに全国に及ぼす効果）」

11.10 **第57回全体会** 京都（京都ブライトンホテル）
運輸省　土橋正義 貨物流通施設課長「倉庫業の今後の動向について」
株式会社フルベール京都　前田均 代表取締役「社員にやる気を起こさせるには」

共通テーマとして「TQC」を展開

80年代以降、日本経済はバブル期に向かい、民間の倉庫着工数も大きな伸びを見せましたが、経済成長に陰りも見え始めました。こうした中、倉青協では各社が共通して取り組めるテーマとしてTQC（品質管理活動）を研究し、会員各社が導入を進めました。85年には発表会が開かれ、各社にとって刺激となり、財産となりました。
また、倉庫業の認知度を高めるため、倉青協のシンボルマークとして「YWマーク」を作成し、倉庫業を表現する愛称を会員から募集しました。応募の中から選ばれたのが「ビッグポケット」です。
広大なスペースをイメージさせるとともに、スペースを商品とする倉庫業の未知の可能性を感じさせる愛称となりました。

「TQC」発表会の記録資料

■一般社会・物流の動き

1983
3月　中国高速自動車道が下関まで全面開通
　　臨時行政調査会が「増税なき財政再建」と最終答申
4月　千葉県浦安に東京ディズニーランド開業
6月　初の比例代表制（全国区）で参議院議員選挙
　　国債発行残高が初の100兆円突破
8月　金融機関の第2土曜日休日スタート
◆　物流業のVAN（付加価値通信網）事業への取組が盛んになる
◆　TQC（品質管理）活動が活発化
◆　国際倉庫協会連盟東京大会が開催

国鉄が東京・大井に開設した東京貨物ターミナル

1984
8月　運輸省機構改革で陸運事務所を陸運支局に改称
10月　関西国際空港株式会社が設立
11月　新札発行、1万円の福沢諭吉、5千円新渡戸稲造、千円夏目漱石の肖像
　　東京・世田谷で地下通信ケーブル火災、銀行オンラインが全面マヒ
12月　英国と中国が1997年香港返還に調印

1985
3月　茨城県つくば学園都市で「科学万博」開催
4月　電電公社、専売公社が民営化へ。日本電信電話株式会社、日本たばこ産業株式会社として発足
8月　日航機が群馬県の山中に墜落し、死者520人
9月　道路交通法改正でシートベルト着用義務づけ
10月　関越高速自動車道が全面開通
11月　運輸省が標準宅配便約款を施行

1986
1月　米国自動車販売台数のうち、日本車シェア21.8%に
4月　ソ連チェルノブイリ原子力発電所で大規模な爆発事故
　　男女雇用機会均等法施行
8月　標準トランクルーム・サービス約款実施
11月　国鉄が東海道・山陽本線でピギーバック輸送開始
12月　防衛費1%枠突破

1987
1月　関西国際空港の建設工事着工
2月　NTTの株式が初上場
3月　標準引越約款・取扱約款実施
4月　国鉄分割・民営化でJR6旅客会社「日本貨物鉄道」発足
9月　東北縦貫自動車道が全面開通。青森市から熊本八代市まで2,002キロが高速道路で結ばれる
10月　株価が世界的に大暴落
11月　AWJが日本たばこ産業等とタイアップして「押し入れ産業」を発足
◆　輸送・倉庫業界の国際物流への進出

1988
3月　青函トンネル開通
4月　本四架橋の瀬戸大橋（児島〜坂出間）開通
◆　運輸省がフレイトビラ構想の実験事業開始
5月　運輸省が国際宅配便の利用航空運賃初認可
7月　北陸高速自動車道が全面開通
9月　リクルート賄賂疑惑発覚
12月　新行政改革推進審議会が物流事業規制緩和を答申
◆　トラック輸送の国内シェア50%超す

■全体会・総会の記録

1989（昭和64・平成元年）

3.24 **第58回全体会** 横浜（ホテル横浜ガーデン）

6.14 **第17回総会／第59回全体会** 千葉（シェラトンホテル）

8.31 **第60回全体会** 北海道（函館国際ホテル）

1990（平成2）

3.17 **第61回全体会** 名古屋（ホテルナゴヤキャッスル）
愛知学院大学法学部　林董一 教授「名古屋の商法を語る」

6.22 **第18回総会/第62回全体会** 東京（パレスホテル）
スーパーミュージックコーポレーション　高橋信之 代表取締役「倉庫業のイメージアップ」

10.6 **第63回全体会** 静岡（日本平ホテル）
鈴与倉庫株式会社　山田美智子 ホームケアセンター所長「高齢化社会に向けて」

1991（平成3）

3.8 **第64回全体会** 広島（安芸グランドホテル ）
聖心館道場　引地聖荘 館長「人生と経営に気を活かす」

6.20 **第19回総会/第65回全体会** 東京（パレスホテル）

10.25 **第66回全体会** 神戸（三宮国際ホテル）
伊藤ハム株式会社　伊藤正視 専務取締役「神戸レジャーワールドについて」

1992（平成4）

3.13 **第67回全体会** 北海道（小樽グランドホテル）
株式会社キロロ開発公社　富井哲 常務取締役支配人「キロロリゾートの開発について」

6.19 **第20回総会/第68回全体会** 東京（ザ・フォーラム）
流通情報ネットワーク卸商連盟　宝子山嘉一 事務局長「流通EDIと物流情報ネットワーキング」

10.23 **第69回全体会** 松山（東京第一ホテル松山）
松山市立子規記念博物館　和田茂樹 館長「俳句〜子規と松山」

1993（平成5）

3.25 **第70回全体会** 沖縄（那覇東急ホテル）
沖縄県倉庫協会　有村喬 会長「沖縄県第三次開発振興計画について」

6.26 **第21回総会/第71回全体会** 東京（ザ・フォーラム）
創立20周年式典

10.22 **第72回全体会** 岡山（岡山国際ホテル）
分科会開催

1994（平成6）

3.11 **第73回全体会** 福岡（ホテルニューオータニ博多）
株式会社ふくや　川原正孝 常務取締役「お祭りと経営」

6.16 **第22回総会/第74回全体会** 東京（パレスホテル）
各地区報告（神奈川、福岡、滋賀）

10.13 **第75回全体会** 仙台（仙台国際ホテル）
仙台藩伊達家の分家の子孫・瑞鳳殿顧問　伊達篤郎 氏「乱世を生き抜いた政宗」

1995（平成7）

3.9 **第76回全体会** 水戸（水戸京成ホテル）
茨城工業高等専門学校　佐久間好雄 教授「水戸の名君二代〜光圀と斉昭」

6.16 **第23回総会/第77回全体会** 東京（東京海上ビル新館）
三菱総合研究所　牧野昇 相談役「変わる経済と新しい経営」

10.13 **第78回全体会** 大垣（大垣フォーラムホテル）
分科会開催（エイジグループ）議題「魅力ある倉庫業を目指して」

1996（平成8）

3.15 **第79回全体会** 大阪（ホテル関西空港）
各地区報告（東京、東海、大阪、中国四国、九州）

6.21 **第24回総会/第80回全体会** 東京（パレスホテル）
エッセイスト　阿川佐和子 氏「男の魅力」

9.2 **第81回全体会** 岩手（盛岡グランドホテル）
分科会開催（エイジグループ）「倉庫会社の生き残り戦略」

CPクラネット、押入れ産業が誕生

「日本縦貫倉庫グループ」という形で中堅倉庫による協業の道を開いた倉青協ですが、時代の要請に対応し、また新たな取り組みを誕生させることになりました。それが「CPクラネット」（1984年発足）、「押入れ産業」（1987年発足）です。倉青協は当時から、コンピュータについて熱心に勉強しました。「CPクラネット」は、倉庫業に特化した情報システム会社として設立され、現在に至るまで倉庫業の経営・業務の効率化に大きく寄与しています。「押入れ産業」はコンテナの屋内保管をコンセプトとしたフランチャイズ方式のトランクルームサービスを展開し、倉庫会社のBtoCビジネスの先駆けとなりました。現在の「押入れ産業」の強みである全国ネットワークは倉青協メンバーによる協業の姿勢が母体となっているのです。

1987年にスタートした押入れ産業

■一般社会・物流の動き

1989
1月　1月8日、天皇陛下が崩御。元号が「平成」に
4月　消費税導入。
　　キャピタルゲイン課税とインサイダー規制も実施

1990
6月　日米構造問題が決着
7月　運輸省が全国6地域をサテライト型物流拠点に選定
10月　東欧諸国民主化で東西ドイツが45年ぶりに統一
12月　12月の物流業界の人手不足が深刻化
◆　「貨物自動車輸送事業法」と「貨物運送取扱事業法」の物流二法施行
◆　大気汚染など環境対応で運行規〜モーダルシフトへ

1991
2月　多国籍軍がイラク軍を制圧し、短期間で湾岸戦争集結
3月　トランクルームサービスが伸長。運輸省は利用者保護の目的で“マル適マーク”を導入し、トランクルーム認定制度を公布施行
　　新宿副都心に超高層の東京都庁完成
4月　牛肉とオレンジの輸入自由化スタート
5月　「地価税法」公布。倉庫用地の非課税が実現
6月　雲仙・普賢岳で大規模火砕流が発生
7月　陸・海・空の主要物流企業と物流団体が集結し「日本物流団体連合会」発足
12月　ソビエト連邦が崩壊。独立国家共同体（CIS）に

認定制度の実施でトランクルームサービスの質が問われるようになった

1992
1月　運輸省は、リニアモーター関連技術の物流分野への活用方策を探る
3月　東海道新幹線に「のぞみ」が登場。270km/hで東京・大阪間は2時間半に
◆　運輸省は、環境庁・通産省と共同で「NOx 削減案」をまとめる。将来はメタノール車が中心に
4月　改正商標法が施行され、「サービスマーク」登録される
6月　PKO協力法案が衆参本会議で可決
　　「物流EDI研究会」が発足、物流関係の取引情報等の電子データ交換を推進するための標準化について研究する
9月　カンボジア PKO 派遣
◆　バブル経済の崩壊

1993
1月　EC市場統合開始

1994
1月　建設省が標準駐車場条例を改正し、ビル駐車に荷さばき施設付置を義務化
5月　改正道路交通法が施行。過積載の使用者責任が明確に
6月　自民党が社会党と連携して政権奪回
7月　記録的な猛暑に
9月　関西国際空港が開港

1995
1月　阪神・淡路大震災が発生。神戸港が使用不能に
3月　オウム真理教による地下鉄サリン事件発生
　　為替レートが急騰し、一時1ドル79円台に
11月　日本路線トラック連盟が発足
12月　厚生取引委員会が日本冷蔵倉庫協会に平成4 年の保管料値上げで排除命令

1996
3月　規制緩和推進計画改定で「トラック最低保有台数、将来は全国一律5台」を閣議決定
7月　「海の日」が祝日に
10月　外航海運の「国際船舶制度」がスタート
12月　運輸省、運輸業の需給調整規制撤廃を打ち出す
　　国土審議会が「多軸型国土」開発を答申

■全体会・総会の記録

1997（平成9）

3.14 第82回全体会　大津（大津プリンスホテル）
立命館大学経営学部　石崎祥之 助教授「近未来の流通システムと倉庫業の生き残り戦略」

6.16 第25回総会/第83回全体会　東京（ホテル日航）
ジャーナリスト　野中ともよ 氏「二十一世紀、あなたの時代」

10.24 第84回全体会　唐津（シーサイドホテル東館）
松浦文化連盟　中里紀元 会長「大陸と海洋文化の十字路～唐津」

1998（平成10）

3.5 第85回全体会　奈良（ホテルフジタ奈良）
分科会開催（エイジグループ）議題「倉庫業が物流業界で生き残って行く為には 」

6.15 第26回総会/第86回全体会　東京（芝パークホテル）
野村総合研究所　主任エコノミスト 植草一秀 氏「日本経済の現状と展望～金利・為替・株価はどう動く～」

7.5 創立25周年記念海外研修
米国3PL関連事業視察 7月5日～7月13日（9日間）

10.29 第87回全体会　仙台（三井アーバンホテル仙台）
25周年記念事業米国3PL関連事業視察報告

1999（平成11）

3.1 第88回全体会　神戸（ホテルオークラ神戸）
神戸市港整備局　参事 小柴善博 氏「神戸港及び神戸の復興状況」

6.18 第27回総会/第89回全体会　東京（芝パークホテル）
株式会社料理王国社　代表取締役社長 浅野裕紀 氏「グルメブームの裏表」

10.21 第90回全体会　横浜（横浜ランドマークタワー）
倉青協HP準備委員会「パソコンによる会員名簿の管理及びホームページの開設」

2000（平成12）

3.10 第91回全体会　松山（松山全日空ホテル）
公認会計士・税理士　加納敏孝 氏「相続」と「相続税」について（第1回目）

6.14 第28回総会/第92回全体会　東京（芝パークホテル）
公認会計士・税理士　加納敏孝 氏「相続」と「相続税」について（第2回目）

9.14 第93回全体会　札幌（アートホテルズ札幌）
公認会計士・税理士　加納敏孝 氏「相続」と「相続税」について（第3回目）

2001（平成13）

3.14 第94回全体会　大宮（パレスホテル大宮）
公認会計士・税理士　加納敏孝 氏「相続」と「相続税」について（第4回目）

6.13 第29回総会/第95回全体会　東京（芝パークホテル）
公認会計士・税理士　加納敏孝 氏「相続」と「相続税」について（第5回目）

9.13 第96回全体会　青森（ホテル青森）
分科会開催「課題」 1班 賃金体系を考えるの巻／2班 今後の倉庫業界の進むべき道
3班 本業以外の事業について大いに語る

2002（平成14）

3.14 第97回全体会　名古屋（名古屋観光ホテル）
分科会開催「課題」 1班 本業から派生する関連事業／2班 これからの雇用体系について
3班 システム活用の事例

6.12 第30回総会/第98回全体会　東京（芝パークホテル）
分科会開催「課題」 1班 ここ数年のデフレによる荷主企業からの物流費削減に我社はいかに対応してきて、これからどう対応するのか?
2班 倉庫業はサービス業である!?／3班 わたしが社長になった時

10.16 第99回全体会　広島（ワシントンホテルプラザ）
分科会開催「課題」 倉庫業規制緩和について

2003（平成15）

3.13 第100回記念全体会　福岡（ホテルオークラ福岡）
川崎陸送株式会社　代表取締役 樋口恵一 氏「環境規制が倉庫業へもたらす影響について」
釜山港見学（3月14日～3月15日）

6.11 第31回総会/第101回全体会　東京（芝パークホテル）
30周年記念式典開催

9.18 第102回全体会　福島（ホテルはまつ）
アサヒビール福島工場と山口倉庫・コメ定温倉庫を見学

■一般社会・物流の動き

1997

1月 ロシアのタンカー「ナホトカ」が日本海で原油流出事故を起こす
4月 消費税5%に引き上げ
週40時間労働、トラック運送業でも適用
「総合物流施策大綱」を閣議決定
5月 香港が中国に返還
11月 拓銀、山一證券など金融機関の破たんが相次ぐ
12月 地球温暖化防止会議京都会議（COP3）で先進国に排ガス削減目標を設定
東京湾アクアライン開通
◆ 環境問題の顕在化により物流の効率化が求められる

1998

2月 長野冬季オリンピックが開幕
4月 ISO40 フィートコンテナのフル積載走行が可能に
6月 「中央省庁改革基本法」が成立し、「国土交通省」が2001年に発足
内航海運の船腹調整制度を廃止し、暫定措置事業に移行
9月 34年ぶりの新規定期航空会社、スカイマークエアラインが羽田～福岡就航
10月 長銀が国有化、日債銀も

1999

4月 商船三井とナビックスラインが合併し、外航は大手3社体制に
8月 東京都が「ディーゼル車NO作戦」を開始
10月 自自公連立政権が発足
11月 日立物流と福山通運が戦略的アライアンスを発表
12月 改正労働基準法（女性保護規定廃止、裁量労働拡大）

2000

4月 尼崎公害訴訟地裁判決など自動車公害訴訟初の排ガス差し止め判決
2月 改正航空法施行、国内航空の需給調整規制を廃止
4月 小渕恵三首相が死去、森喜朗内閣が発足
7月 九州・沖縄サミット開催
10月 改正海上運送法施行、カーフェリーなどの需給調整廃止
貨物フェリー制度も撤廃
11月 改正港湾運送事業法施行により9大港で需給調整規制を廃止
◆ 物流、運輸業の規制緩和が進展

2001

1月 省庁再編で国土交通省が発足
4月 小泉純一郎内閣が発足
6月 自動車NOx法改正
7月 新「総合物流施策大綱」が閣議決定
9月 米国同時多発テロが発生
10月 東京都が「環境確保条例」を施行
◆ 物流のセキュリティー意識が高まる

2002

3月 自民党トラック議員連盟が発足
4月 改正倉庫業法が施行
国土交通省が「次世代内航海運ビジョン」策定
6月 日韓共催によるサッカーW杯が開催
9月 小泉首相が北朝鮮を訪問し、日朝首脳会議が実現
10月 日本航空と日本エアシステムが経営統合
外資系物流ファンドが本格進出

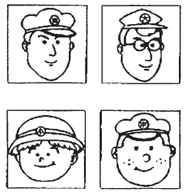
改正倉庫業法により業は許可制から登録に

2003

3月 イラク戦争が勃発
4月 新型肺炎 SARSが大流行
日本郵政公社が発足
改正物流二法、改正鉄道事業法が施行
5月 宮城県沖地震が発生
6月 物流取引も対象に加えた改正下請法が成立
9月 スピードリミッターの装着が義務化
10月 首都圏自治体によるディーゼル車規制スタート

エイジグループの小・中・高・大学生のシンボルマーク

バブル経済が崩壊し、日本は長期化するデフレ不況に突入。物流はメーカーのコスト削減の有力なターゲットとして脚光を浴びるようになりました。メーカー在庫の圧縮は倉庫業の経営にも大きく影響し、倉青協でも倉庫業の「生き残り策」が真剣に議論されるようになりました。直面する課題と向き合い、議論するため、95年には「エイジグループ」が導入されます。“若手経営者の集まりといえどもメンバーは20代～40代と年齢幅があり、より年少の会員が発言しにくくなっている状況で、忌憚なく議論しやすい環境をつくるのが目的でした。年齢の高い順に「大学生」「高校生」「中学生」「小学生」とグループ分けし、通年同じテーマで議論するという新しい形の「親睦と勉強」となりました。なお、「エイジグループ」は2009年～2011年に復活することになりました。



■全体会・総会の記録

2004（平成16）

2.6 常任幹事会&企業交流会トライアル　東京（芝パークホテル ）
国土交通省 総合政策局　貨物流通施設課長 濱勝俊 氏「16年度物流施設関係施策」をテーマに講演

3.11 第103回全体会　大阪（大阪全日空ホテル）
国土交通省総合政策局　貨物流通施設課長 濱勝俊 氏
「平成16年度の予算・税制を通じて見た物流業界の最近の動きについて」講演
翌日カネボウ薬品関西配送センターを見学

7.6 第32回総会/第104回全体会　東京（芝パークホテル）
倉青協会員が100人突破
国土交通省 総合政策局　貨物流通施設課長 濱勝俊 氏
日本におけるS3PLビジネス、グリーン物流をテーマに講演
第1回企業交流会がスタートし、会員とその企業の社員、国土交通省からのゲストを含め100人以上が参加

10.19 第105回全体会　香川（全日空ホテルクレメント高松）
国土交通省 総合政策局　貨物流通施設課長 濱勝俊 氏
「3PL人材育成研修の進ちょく状況について」講演
分科会開催「課題」 1班 ホームページのコンテンツおよび今後の運営について
分科会開催「課題」 2班 顧客との契約形態について
3班 倉庫の証券化について考える

11.26 第2回企業交流会　東京（芝パークホテル）
1日目は国土交通省総合政策局の濱勝俊・貨物流通施設課長が「3PL研修の目的」について説明
グループ討議を行い、自主研修を実施
2日目はグループの自主研修とプレゼンテーション

2005（平成17）

2.3 常任幹事会　東京（芝パークホテル）
物流ニッポン新聞社　専務 北原秀紀 氏「荷主と物流事業者の今後の動向」をテーマに講演
輸送経済新聞社　社長 森島泰彦 氏
「日本3PL（サードパーティー・ロジスティクス）はどこへ行く」をテーマに講演

4.14 第106回全体会/第3回企業交流会　名古屋（東京第一ホテル錦）
愛知万博（愛・地球博）見学
新東通信株式会社　常務取締役(愛知万博事務局) 坂田稔 氏「愛知万博」をテーマに講演
中京大学大学院教授（元東海総合研究所社長）水谷研治 氏「名古屋経済」をテーマに講演

7.8 第33回総会/第107回全体会/第4回企業交流会　東京（芝パークホテル）
鈴木篤 氏（太成倉庫）、齋藤宏明 氏（ひかり倉庫）がそれぞれ
「物流不動産ファンドの現状について」、「企業価値と経営」をテーマに講演

10.18 第108回全体会　石川（片山津温泉 あたかや佳水郷）
明祥（石川県金沢市）副社長 重松豊 氏
センコー東日本営業本部ロジスティック営業部 中部システム担当課長 上田良範 氏
「物流アウトソーシング（業務委託）」について講演

2006（平成18）

1.27 常任幹事会　東京（芝パークホテル）
国土交通省 総合政策局　貨物流通施設課課長　山口裕視 氏
課長補佐　井出徳一郎 氏　　課長補佐　橋爪栄 氏
「総合効率化計画の認定事例と地球環境保全に関する施策」をテーマに講演

2.24 第5回企業交流会
香川県坂出市の高松臨海倉庫（香川）物流センターで開催

3.23 第109回全体会　熱海（ホテルニューアカオ）
エッセイスト 国際ラリースト　山村レイコ 氏
「この地球に生きるということ　夢と勇気と好奇心」

6.7 第34回総会/第110回全体会　東京（芝パークホテル）
ジャーナリスト　三神万里子 氏
「システム思考による“市場創出型”資産活用を考える」をテーマに講演

第6回企業交流会全国大会
阪南倉庫　堀畑浩重 氏「倉庫現場の生産性の向上」をテーマに講演

8.7 第7回企業交流会　仙台（ホテルモントレ仙台）
白石商工会議所の佐藤孝一 名誉会頭が「海軍精神と企業」をテーマに講演。
「実勢取扱料金の実態と各社の対応」についてグループディスカッション

10.26 第111回全体会　秋田（秋田ピューホテル）
日本アイ・ビー・エム株式会社　顧問 堀田一菱氏
「IBMで学んだこと、今中堅企業の経営に参加して学びつつあること」をテーマに講演

■一般社会・物流の動き

2004

4月 成田空港が民営化
7月 国土交通省がスーパー中枢港湾を指定
8月 アテネオリンピック開幕
9月 グリーン物流パートナーシップ会議を発足
10月 大リーガー「イチロー」が最多安打記録を達成
新潟県中越地震が発生

スーパー中枢港湾への「選択と集中」を打ち出したが・・・

2005

2月 中部国際空港が開港
3月 愛知万博が開幕
4月 ペイオフ完全実施
JR福知山線脱線事故が発生
改正内航海運業法が施行
9月 郵政選挙で自民党圧勝
燃油価格の高騰で国交相が経済界トップに協力要請
10月 道路公団が民営化
11月 耐震強度偽装事件が問題化
総合物流施策大綱（～09年）が閣議決定
◆ 高騰する軽油価格への対応が本格化

2006

2月 イタリア・トリノで冬期オリンピックが開幕
3月 輸出者向けに AEO制度がスタート
4月 改正省エネ法が施行
6月 第1回日中韓物流大臣会合が開催
12月 フセイン元イラク大統領に死刑執行

AEO JAPAN

AEO制度はのちに物流事業者にも適用を拡大

創立25周年には米国3PL事業を視察

規制の流れに乗り2002年には倉庫業が改正され、倉庫業への参入規制が許可制から届出制になり、物流子会社や運送会社など異業種が倉庫業に本格参入してきました。「サードパーティー・ロジスティクス（3PL）」という言葉が急速に普及したのも、ちょうどこの時期です。言葉の定義には議論がありますが、3PLは荷主の物流を包括的に請け負い、物流を効率化を実現するサービスとして認知され、日本で3PL市場が開けようとしていました。こうした中、倉青協では3PLの先進国である米国のロジスティクスにいちはやく注目し、倉青協の創立25周年を記念し、1998年には米国3PL視察を行いました。

米国3PL視察風景

■全体会・総会の記録

2007（平成19）

1.26 常任幹事会　名古屋（東京第一ホテル錦）
トヨタテクノミュージアム産業技術記念館の見学会
日本倉庫経営者倶楽部　会長 井上忠利 氏「倉青協のおかげで」をテーマに講演
国土交通省総合政策局　貨物流通施設課長 河野春彦 氏
「倉庫業を取り巻く経済状況と新たな行政展開」について講演

2.22 第8回企業交流会
「倉庫・物流センターの運営管理の実際」がテーマ、阪南倉庫の倉庫を見学

3.28 第112回全体会　別府（ホテル白菊）
大成倉庫の物流センターを見学
国土交通省総合政策局　貨物流通施設課長 河野春彦 氏
「倉庫業を取り巻く経済状況と新たな行政展開」をテーマに講演

6.13 第35回総会/第113回全体会　東京（芝パークホテル）
元セ・リーグ審判員　平光清 氏
「勝負の世界に生きて　審判を通して見た勝負の世界」をテーマに講演

9.19 第114回全体会　北海道（札幌プリンスホテル 国際館パミール）
札幌ドームの見学会
国土交通省　政策統括官付参事官（物流施設）河野春彦 氏
「倉庫業を取り巻く最近の状況と取り組み」をテーマに講演

第9回企業交流会（18日）　札幌
「企業交流会とは」をテーマにグループ討論

12.14 第10回企業交流会　福岡
一人一間で全員参加をテーマに実施

2008（平成20）

1.29 常任幹事会　東京（パレスホテル）
国土交通省との意見交換会

3.6 第115回全体会　山梨（アーバンヴィラ古名屋ホテル）
国土交通省　政策統括官付参事官（物流施設）河野春彦 氏
「最近の倉庫行政の展開について」をテーマに講演
サントリー白州工場および丸市倉庫の倉庫見学

5.23 第11回企業交流会　横浜
ダイワコーポレーションとコバヤシエンタープライズの横浜新山下の倉庫を見学

6.11 第36回総会/第116回全体会　東京（芝パークホテル）
勝沼醸造株式会社　代表取締役 有賀雄二 氏「世界に通ずる甲州ワイン」をテーマに講演

7.6-13 創立35周年記念海外視察　米国 ロサンゼルス・サンディエゴ

11.6 第117回全体会　高知（高知新阪急ホテル）
前高知県知事　橋本大二郎 氏「知事にできること、知事にできないこと」をテーマに講演
35周年記念海外視察の報告会

12.12 第12回企業交流会　名古屋
福玉精穀倉庫を見学

2009（平成21）

1.27 常任幹事会　東京（パレスホテル）
国土交通省との意見交換会

3.5 第118回全体会　つくば（ホテルグランド東雲）
国土交通省　政策統括官付参事官（物流施設）田中照久 氏「倉庫を取り巻く状況について」講演
JAXA「筑波宇宙センター」の見学会

6.10 第37回総会／第119回全体会　東京（芝パークホテル）
日本政策投資銀行　鍋山徹 氏「世界経済の行方と日本の産業展望」をテーマに講演

11.12 第120回全体会　富山（ANAクラウンプラザホテル富山）
エイジグループ分科会・発表会

■一般社会・物流の動き

2007
- **1月** 防衛省が発足
- **6月** 改正道路交通法が施行。中型免許制度が創設
- **7月** 参院選で自民党が大敗し「ねじれ国会」に
- **10月** 郵政民営化がスタート
  「特定保税承認制度」がスタート

中型免許制度でドライバー不足の懸念

郵政民営化の動きに物流業界も警戒

2008
- **1月** 中国製ギョーザ食中毒事件が発生
- **3月** イージス艦衝突事故が発生
- **4月** 軽油引取など道路特定財源の暫定税率が一時失効

軽油価格の高騰がトラック事業者の経営を圧迫

- **5月** 「トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議」が初会合
- **7月** 日本各地でゲリラ豪雨が発生
- **8月** 北京オリンピック開幕
- **9月** 「リーマン・ショック」で世界経済が低迷
  高速道路の夜間・休日割引がスタート
  ◆ 物流不動産ファンドの開発がピークに

2009
- **4月** 新型インフルエンザが猛威
- **6月** 静岡空港が開港
- **7月** 総合物流施策大綱（～13年）が閣議決定
- **8月** 衆院選で民主党が圧勝
- **9月** 民主党が鳩山由紀夫内閣を発足し、政権交代
- **10月** 国土交通省が成長戦略会議を設置
  成田空港B滑走路が延伸され供用開始
- **11月** 行政刷新会議による「事業仕分け」がスタート

社員も含めた「企業交流会」がスタート

2000年代に入ると、外資系物流不動産ファンド・デベロッパーが日本に進出し、大型物流施設の開発、投資が加速し、倉庫の供給過剰が倉庫会社の経営に大きなインパクトを与えるようになりました。また、05年に制定された、物流効率化と環境負荷低減を目的とした物流総合効率化法により、保管・荷役を中心としていた倉庫業に業容の変化が求められることとなります。
倉青協の活動も親睦はもちろんですが、「会社の経営や実務に役立つ」ことが期待されるようになりました。もともと倉青協には他社の倉庫を見学し、お互いの長所を学ぶ土壌があり、それが発展して会員の社員も含めた「企業交流会」がスタートしました。「企業交流会」を通じて、倉青協のネットワークはより厚く、強固なものとなりました。

社員も参加する「企業交流会」

■全体会・総会の記録

2010（平成22）

1.28 常任幹事会　東京（芝パークホテル）
国土交通省との意見交換会

3.11 第121回全体会　静岡（ホテルセンチュリー静岡）
エイジグループ別分科会

6.9 第38回総会／第122回全体会　東京（芝パークホテル）
「健全な組織は価値観の経営を目指す」をテーマに講演
株式会社リコー　販売事業本部審議役 田村均 氏「健全な組織は価値観の経営を目指す」

10.28 第123回全体会　京都（京都全日空ホテル）
エイジグループ分科会

2011（平成23）

1.25 常任幹事会　東京（芝パークホテル）
国土交通省との意見交換会

3.10 第124回全体会　山口（下関グランドホテル）
エイジグループ分科会別発表会

6.8 第39回総会/第125回全体会　東京（芝パークホテル）
財務省関税局との意見交換会

8.26 第1回企業交流会　東京（オーティーエス本社）
瑞江センター、臨海センターを見学
「サービスを特化した物流とは?～差別化から独立化へ～」がテーマ

10.13 第126回全体会　佐賀（唐津シーサイドホテル）
ブルーム 松浦通運の見学会

2012（平成24）

1.30 常任幹事会　東京（芝パークホテル）
NPO法人災害支援機構　WE CAN 事務局長 秋元義彦 氏
民間による支援物資の備蓄の取り組みの紹介
国土交通省による「災害に強い物流システムの構築」についての説明
国土交通省との意見交換会

3.8 第127回全体会　神戸（神戸ポートピアホテル）
「人と防災未来センター」の見学会

4.27 第2回企業交流会　三重
生川倉庫本社 亀山物流センター、石薬師営業所を見学
「新規顧客獲得のノウハウとそれを支える現場力」がテーマ

6.6 第40回総会/第128回全体会　東京（ホテルJALシティ田町東京）
SBSホールディングス株式会社　代表取締役 鎌田正彦 氏
「創業25周年を振り返って」をテーマに講演

9.7 第3回企業交流会　滋賀
日に新た館本社を見学　「失敗から学ぶ新物流提案事例」がテーマ

10.18 第129回全体会　札幌（京王プラザホテル札幌）
「最先端の冷凍冷蔵機能を備えた倉庫」の見学会

2013（平成25）

1.29 常任幹事会　東京（芝パークホテル）
国土交通省との意見交換会

3.21 第130回全体会　仙台（ホテルモントレ仙台）
国土交通省との意見交換会
東日本大震災で被災した会員企業3社（協和運輸倉庫、センコン物流、白石倉庫）から報告会
被災地域の視察（仙台港～陸前高田～気仙沼、石巻）

2.15 第4回企業交流会　川崎
シーオス川崎事業所を見学　「ネット通販物流のこれから」がテーマ

6.11 第41回総会/第131回全体会　東京（芝パークホテル）
40周年記念式典開催

■一般社会・物流の動き

2010
- **1月** 日本航空が会社更生法の適用を申請
- **2月** カナダ・バンクーバー冬季オリンピック開催
- **5月** 上海万博開幕
- **6月** 高速道路の無料化実験がスタート
- **7月** 参院選で民主党が大敗し「ねじれ国会」に
- **8月** 国土交通省が国際コンテナ戦略港湾を指定
- **9月** 尖閣諸島沖で中国漁船と海保巡視船が衝突
- **10月** 羽田空港に新国際線ターミナルが開業

京阪港・阪神港は国際ハブポートとしての機能回復へ

2011
- **3月** 東日本大震災が発生
  福島第一原発事故で甚大な被害が広がる
  東日本大震災でサプライチェーンが寸断
  九州新幹線が全線開通
- **4月** 関西国際空港と伊丹空港の経営統合が決定
- **6月** ドイツのサッカー女子W杯で「なでしこジャパン」が初優勝
  震災復興で高速料金の無料化がスタート
- **7月** 各地の原発停止を受け電力使用制限を発令
- **10月** タイの日系企業が大規模な洪水被害に
  国土交通省が日本海側拠点港を選定
  野田首相がTPP交渉参加を正式表明

2012
- **2月** 国土交通省が「災害に強い物流システム」の
  集約拠点として民間施設をリストアップ
- **7月** ロンドンオリンピック開幕
  再生可能エネルギーの固定価格買取制度がスタート
  尖閣諸島、竹島の領土問題で外交不安が顕在化
  ◆ 買取制度を受け太陽光発電に倉庫会社が注目
- **12月** 第46回衆議院議員選挙が行われる
  自民大勝294議席を獲得
  投票率は59.32%と戦後最低に
  中央自動車道の笹子トンネルで天井板崩落事故

倉庫の屋根を利用した太陽光発電

2013
- **1月** 2年7ヶ月ぶりに1ドル90円台後半に
- **2月** 「アベノミクス」効果で円安と株価上昇へ
- **3月** 安倍晋三首相がTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉への参加を表明
  新しい総合物流施策大綱の策定に向けた有識者検討委員会の提言骨子案まとまる
- **4月** 淡路島地震が発生
  米 ボストンマラソンで爆破テロ事件

東日本大震災では組織的な支援

2008年の世界的な金融危機、いわゆるリーマン・ショックは日本経済に大きな影響を及ぼし、倉庫業には輸出入貨物の取り扱いの激減、国内貨物の荷動きの低迷をもたらしました。ようやく景気が回復してきた矢先に起きたのが、東北を震源とする東日本大震災です。阪神淡路大震災以来の大災害で、より広域にわたって会員が被災しました。倉青協は東日本大震災発生直後から、救援物資の供給、応援の作業員を派遣する"人的支援"など組織的な活動を行いました。創立以来の協業の姿勢、社員も含めたメンバー同士の信頼が災害時のネットワークとして生かされたのです。倉青協では社会インフラとしての倉庫業の重要性を再認識し、今後想定される大災害に備え、ハード、ソフトの両面で災害に強いロジスティクスを担っていこうとしています。

救援物資を積んで被災地に向かう

CHALLENGE BUILDS THE FUTURE

50TH ANNIVERSARY ROUNDTABLE

2022年7月6日、東京港区芝公園 ザ・プリンスホテルパークタワー東京 32階クラブラウンジにて2013年から2023年の歴代会長をお迎えし、倉庫業青年経営者協議会50周年記念座談会を開催しました。
倉庫業青年経営者協議会のこの10年のこと、仕事・会社のこと、そしてこれからのことについて真剣に、そして楽しく語っていただきました。
なお、この座談会は下記にアクセスいただくとラジオで聞くことができます。

Spotify　listen　YouTube
この座談会の
ラジオはここから！

倉青協会長として力を入れたこと

富永　現在、第24代会長を務めています。スローガンは「変化！ 変化！ 変化！」。会員によるプレゼンテーションの時間を多くとるなど、皆様の取り組みを相互に共有することに力を入れて活動しています。一言で倉庫業者の集まりと言っても、専門化、多様化が進んでいます。それぞれの今の姿を共有することで、会員各社に新しい取り組みのきっかけを提供できるような運営をしていきたいと思っています。

曽根　私は2013年から2年間、第20代会長を務めました。「NO倉庫、NO LIFE！」をテーマに、会員だけでなく社員の皆様にも、倉庫業のよさや他社の取り組みなどに触れていただきたいということで、企業交流会に力を入れました。それから、僕の代名詞である飲み会にも力を入れて、寂しそうな会員をつくらないことをモットーに2年間がんばりました。

太宰　第21代の会長を務めた太宰です。「Talk About SOKO, More Deeply !!」ということで、分科会制度をつくり、防災やウェアラブルのシステム開発、WMSなど、倉庫業に関わる細かい部分を深掘りすることに力を注ぎました。参加したら必ず一人1回は発言して、何か一つは持ち帰ってもらえるような勉強会を目指し、みんなで倉庫についてじっくりと話した2年間だったと思います。

池田　2017年から2019年の2年間、第22代会長を務めた池田です。スローガンは「温故知新」としました。会員が増えていく中、なかなか全体会等に参加できない会員も多かったので、こちらから出かけていって、15都道府県、OBを含め130人くらいのメンバーと交流しました。また、今まで手が付けられてこなかった会費の値上げを私の代で行いました。もう一つ、全体会を未開催県で開催し、若干ですが会員拡大にも貢献できたかと思っています。

野口　私は第23代で、前会長にあたります。スローガンは「物流業　変革と挑戦」です。我々倉庫業は、今や倉庫業務だけでなく、運送業やシステム開発などもやっています。業態に垣根がなくなってきている中で、倉庫だけに偏らずいろいろな業界とビジネスを発展させていきたいという思いを込めました。コロナ禍で思うように活動できない部分もありましたが、なんとか全体会を1回中止しただけで、あとは全部の行事を行うことができました。

後継ぎという重責とどう向き合ったか

太宰　僕は業界大手の三菱倉庫さんで修行して、倉庫業の王道を教わりました。それで帰ってみると、うちの会社は歴史こそ長いけれど何の強みもない。もう一度、一から会社を作り直さなければいけないと感じて、最初に就業規則を全部見直しました。それから、田舎は仕事のペースがのんびりなので、時間軸を全国標準に合わせる環境づくりをしたり、地元に仕事の友人をつくるため積極的にいろんな会合に顔を出したりしました。

野口　私は大学を卒業してすぐ、野口倉庫に入社したのですが、2、3か月間、休みもほとんど取れず、4か月後に倒れて1か月入院して、退院したらまたすぐ現場に戻るような状況でした。うちは下請けの物流業だったので、一所懸命やってもお客様と会えないし、誰からも褒められない。2、3年くらいはずっとモヤモヤしていましたね。上司や現場の人たちからは、「お前はどうせ継ぐんだろう」みたいに言われて、とにかく作業の腕を上げて実力で先輩たちに勝つしかないという感じでした。

曽根　総合商社に3年勤めた後、ダイワコーポレーションに入りました。僕は志願して倉庫の現場業務に行ったのですが、つらいことも多かったです。現場の社員がお客様の指示で不正していることを突き止めてしまい、ただでさえ社長の息子として色眼鏡で見られているのに、自分より年上の人を摘発しなければならないこともありました。厳しい経験でしたが、それで腹をくくれました。1年後に本社に来てから

は、社員の待遇面を改善すべく、就業規則や給与規定など、ほぼすべての規定を数年かけて切り替えました。

太宰　人間関係で言うと、先代の番頭さんには苦労しましたね。古い社員を大事にしない後継者はだめですが、意見を言えない経営者はもっとだめ。なるべく自分の考えを話す機会をつくって、彼らに協力してもらいながら自分の新しい経営スタイルに切り替えていかなければいけない。先代の社長はこんなことは言わなかったと、ケンカになったこともありました。最後はわかっていただきましたが、先代と比較されるのは宿命です。

池田　僕は小さい時から会社の行事に必ず行っていて、昔から社員と一緒に育ってきたような感覚があって、入社した時もあまり色眼鏡は感じなかったです。先代の社長が非常に厳しい人だったので、逆に僕はあまり厳しく言わなくてもよかった部分はあります。今いる社員は全員、祖父の代、父の代に入社した社員で、全員年上ですが、本当に小さい頃から知っている人たちなので、自分が上の立場になってからも摩擦が生じることはなかったです。

富永　僕は大学を出てすぐ自分の会社に入り、現場を経験した後、1年ごとにグループ各社を回ったのですが、どこへ行ってもお客様、よそ者みたいな感じで、なかなかしんどい時期がありました。29歳で中核会社の社長になったのですが、子どもの頃から僕のことを知っている役員がずらっといて、実力がない人間が何を言っても聞いてもらえないところがあって。そんなアウトサイダー状態から、自分の仲間を少しずつ増やしていく努力をずっとしてきた気がします。倉庫会社は保守的なところがあるので、常に会社を変えていきたいと思っているし、こういう新しい挑戦をしたいんだと、いつも社員に語り続けています。

働きがいのある会社をつくる

曽根　うちはお客様満足度と従業員の満足度、協力会社の満足度を定期的に測っていて、それをマックスにするために努力しています。社内報は年2回出していますが、僕の思いがあふれて年々分厚くなってきました。社員の満足度については、匿名式で年に4～6回アンケートを取って、微妙な動きもキャッチしています。ちょっとまずいなという子がいたら、現場に行ってさりげなく声をかけたりして、だめになってしまう社員を未然に防ぐ意味でも活用しています。

太宰　やはり見ている方向が同じですね。うちも3年前から、社員全員と面談する新しい人事評価制度をつくっています。これはいわば社員の通信簿です。そして今年4月から、幸せデザインサーベイというアンケートを始めました。これは社員から見た、社長と会社の通信簿です。社長にどんなダメ出しが来るか心配でしたが、今回は「働きやすく、職場環境はいいが、仕事に対する議論が足りない」といった結果でした。こうした取り組みも、自社を見直すよいきっかけになります。

野口　当社は化粧品などEC系通販の商品がメインで、コールセンターや資材販売、インターネット事業なども多角的にやっていて、新卒の若い子にかなり仕事を任せている点が特徴的です。また、社員とは直接面談をして要望を聞き、できる、できないをその場ではっきり答えることにしています。先日も作業ズボンがほしいと言うので、じゃあ明日から支給しましょうと。とにかくスピーディにやることを心掛けています。倉庫に全館空調を入れてほしいという声には、さすがに明日は無理だから1年待ってほしいと伝え、約束どおり今年空調が入りました。やっぱり社員が働きやすいと言ってくれるとうれしいですね。

倉青協が発信して倉庫業を変えていきたい

富永　新卒の採用をしていて思うのは、この業界は人気業種ではないし、最初から物流業に行きたいという学生は多くないという事実です。物流業界は、コロナ禍でも安定的に稼働することを求められたように、本当に社会の役に立ち、今後とも決してなくなることのない重要な仕事です。そういった本質の価値を発信し、「物流業界でぜひ働きたい」という学生さんを増やしていきたい。そのためには、労働時間や賃金も改善する必要があるでしょう。中小企業が一社で会社の存在価値を発揮するのは難しくても、倉青協として全国から優秀な経営者が集まれば、また価値も高まっていくのではないでしょうか。

曽根　総合商社から倉庫業界に入って驚いたのは、社会的地位がすごく低いことです。その地位を上げたいと切に思います。例えば倉庫業界でテレビＣＭを継続的に打つとか、我々が主導して、欧米のように日本の大学にも物流学科をつくってはどうでしょうか。就活に入った学生さんが、物流とか倉庫もいいよねと、その時点でわかることが大事です。「倉庫業だから、物流業だからやりがいを感じて来ました」という子を増やしたいのです。

太宰　今、国土交通省の人が物流の現状を知りたい時、どこに話を聞くかというと倉青協に聞いてくるわけです。それは今までの先輩や僕らが、倉青協の活動を通して行政に働きかけ、その土壌をつくってきたからです。倉青協も50年の節目を迎えて、これからは今まで以上に監督官庁に新しい物流について発信していくべきだと思っています。昔から愚直に「大型庇を建蔽率から外してほしい」と言い続けた結果、ついに国交省も我々の提案を受け止めて検討が始まりました。やはり何か変えたい課題があったら、倉青協は発信し続けていくこと。そうすれば、自分たちが思っていたことが実現できる世の中が来ると思います。

2013~2015

第20代会長
曽根 和光 氏
株式会社ダイワコーポレーション

2015~2017

第21代会長
太宰 榮一 氏
株式会社白石倉庫

2017~2019

第22代会長
池田 雅一 氏
東京倉庫運輸株式会社

2019~2021

第23代会長
野口 英徳 氏
野口倉庫株式会社

2021~2023

第24代会長
富永 太郎 氏
福岡倉庫株式会社

経営者として、倉庫業のプロとしての達成感とは

野口　経営的には売上や利益が大事ですが、僕にとってそれは後付けで、社員が楽しく幸せに働いて、お客様の満足度を上げられることが本当の達成感だと思っています。自分が25、26歳の頃に新卒で採用した人が、いつの間にか家庭を持ち、その子どもがもう20歳とか大学を卒業すると聞いた時、大きな感慨がありました。我々は経営者ですが、会社を起因として運命が変わる人間がかなりいるわけです。そういう方々の幸せな人生をつくるのが、第一の使命だと思っています。もう一つ、20年以上お付き合いいただいている会社の社長から、「野口さんとずっと組んできて本当によかった」と言っていただけたのはうれしかった。倉庫業はまさにお客様とともにある、まじめな仕事だと思います。

富永　常に新しい施策に挑戦しているので、それが成功すればその都度、小さな達成感はあるのですが、野口さんも言ったように、最終的にはお客様にうちと付き合ってよかったと言っていただけて、その結果として会社が繁栄して、社員が幸せに過ごしてくれることにすべては帰結すると思います。そのためには、倉庫会社として我々が担うべき仕事を、しっかりとやり続けていくことです。同じことの繰り返しかもしれないけれど、だからこそプロフェッショナルになれる。それぞれの社員が胸を張って、自分はこれがプロフェッショナルなんだと言ってもらえるように、会社のレベルを上げていきたいと思っています。

曽根　じつは最近、すごくうれしいことがありました。うちの会社は僕がいる時といない時で、いる時のほうがみんな楽しそうに仕事をしていると、複数の社員が言っていたんです。とくに中途入社の子が言うには、普通、社長が来たらシンとして、その時だけ仕事をしているふりをするものだと。でもうちの会社は、社長が通るとみんな社長にしゃべりかけるし、社長も声をかけるから、あちこちで笑顔が出ると。それを聞けた時に、いろいろやってきたことが報われつつあるのかなと感じました。

太宰　昨年6月に全国低温倉庫協同組合の理事長に就任しました。お米の業界の受注環境は非常に厳しく、3年間で抱えている課題をクリアしたいと今挑戦しています。この活動をする中で僕が相談しているメンバーは、倉青協の人ばかりです。今まで深く付き合い、いろいろ議論してきたからこそ、こういう時にもアイデアをくれたり、それではだめだと言ってくれたりするわけで、すごくありがたく思っています。異なる組織ではあっても、こうして業界を変えるために努力をして、ある程度の結果が残せたら、すごく達成感が得られるかなと思っています。そして自分のなすべきことをなしたら、早いタイミングで後継者にバトンを渡して、あとは一切口を出さないというのが僕の理想の姿です。

富永　今回、50周年記念ということで、改めてこうして話す機会をいただきました。各社の強みや施策は多種多様ですが、その幹となる部分はお互い共有できているのだと感じました。ありがとうございました。

オフィスラジオって？

オフィスラジオとは、社内報やインタビューなどをラジオ番組形式で行うツールです。社長のメッセージを音声で伝える、社員をゲストによび、インタビューをするなど、社内の様々な情報を音声で発信。作業の手を止めずに情報を共有したりコミュニケーションの場になります。

▶ オフィスオンニチについてはp51をご覧ください。

2013

NO倉庫、NO LIFE！
強い絆で明るい未来を拓こう

2015

第20代会長（2013.6～2015.6）

曾根和光 そね　かずみつ

株式会社ダイワコーポレーション 代表取締役社長

1967年生まれ、東京都出身。
1990年3月　慶應義塾大学経済学部卒業
1990年4月　丸紅株式会社　入社
1992年10月　株式会社ダイワコーポレーション入社
2011年10月　代表取締役社長　現在に至る
1996年に倉青協入会。

脱ぐとすごいんです。（左肩に10針以上の手術後が～）社会人1年目のときに同期の運転する車で事故に遭い、左肩を複雑骨折、7時間に及ぶ手術を行った。術後1か月で社会復帰するも担当医からは、「ゴルフも筋トレもできません」と宣告された。持ち前の負けず嫌いでその2年後にはゴルフや筋トレができるほどになりました。

株式会社ダイワコーポレーション
https://daiwacorporation.co.jp/

商社での学びを軸に「ノーと言わない」経営哲学を貫く

ダイワコーポ―レーション様はどのような特徴をお持ちですか

曾根　業界ではいち早く、20年くらい前から倉庫のサブリース事業をスタートして、現在、営業倉庫業、サブリース業、ビル賃貸業の三本柱で幅広く仕事をしています。
僕の経営哲学のトップに来るのは、「お客様にノーと言わない」です。そのためにネットワークづくりを大事にしているのですが、中でも全国にネットワークを広げる上で、倉青協の役割はダントツに重要であり、最も恩恵を感じています。我々一社一社は中小・中堅企業ですが、全国規模の案件であっても、倉青協のみんなが団結して提案すれば、大企業とも十分戦えることを僕らは示してきましたし、これからもそういう協議会であってほしいと思います。

大学卒業後は、総合商社の丸紅に3年間お勤めされたのですね

曾根　はい、丸紅に入社して大阪本社に配属されました。初めて実家を離れ、連日のようにお酒の洗礼も浴びましたし、100時間前後も残業があるようなハードワークで、なかなか辛い部分もありましたが、すばらしい先輩や仲間に恵まれて、3年間頑張って今がある感じです。
総合商社で働かせていただく中で、「仕入れなくして販売はない」ということを本当の意味で学び、自分のものにしました。もしこれがなかったら、今日のグループの繁栄はないと断言できるくらい、うちの会社にとって、仕入先、取引先様を大事にするというのは根幹となる理念です。それは総合商社ですべて学んだものであり、現在も丸紅には感謝しています。
僕の仕事の目的は、目先の利益を上げることではなく、仲間の輪を増やしていくことにあるんです。だから、1年で100万円儲けるよりも、10年間で100万円儲けなさいと社員には言い続けてきました。10年間、毎年10万円ずつ得るということは、その間ずっとお客様との信頼関係が続くわけです。そうしたら、その中から新たなビジネスの話も出てくるかもしれない。100万円よりもっと大きな売上利益につながる可能性だってあるのです。

商社から倉庫業に行かれて、何かギャップは感じましたか

曾根　丸紅の時は、新規で電話をかけても営業トークができましたが、ダイワコーポレーションと名乗ってもガチャンと電話を切られちゃうような感じで、やはり知名度のギャップは大きかったですね。それと、僕は志願して倉庫現場に入って、作業着で荷役作業をやっていたのですが、時々ふと、もし丸紅にいたら自分はスーツを着て今頃何をしていたかな、なんて考えてしまう時期もありました。
でも、丸紅に対して感謝の気持ちが強かった分、あれだけ好きだった会社を辞めたんだから、ここで頑張らなければという発奮材料にもなりました。それに家業ですから、祖父が創った会社で、父が安定的な基盤を整えつつあったところに仲間入りしたわけで、これから先はとにかく自分が中心となって、もっともっと強く、新しいダイワコーポレーションを作っていかなきゃいけない。さらに言えば、物流業界にも少しは貢献できるようになりたいと、その頃から真剣に考えていました。

同じ境遇の仲間だからこそ悩みも共有できる

倉青協に入会された経緯を教えてください

曾根　父から、とてもいい会で、同じ境遇の方がたくさんいて勉強になるから入りなさいと勧められました。父が当時の現役の会員の方たちに声をかけてくれて、中でも代表格で歴代会長のお一人である川崎陸送の樋口社長に新橋の新橋亭でごちそうになりながら、倉青協の話を聞きました。当然悩んだりする余地はなく、ノーと言う権利もありませんので、すぐ「お願いします」と言って入会させていただきました。
父には、仕事面でいろいろ感謝することがあるのですが、倉青協への入会の道を作ってくれたことは、その中でもトップ3の一つに入ると思っています。

倉青協のどういったところに価値を感じますか

曾根　経営者としていろいろ悩みがある中で、この会に出て、同じ境遇の方と話をしたり、時には国土交通省であったり、いろんな立場の方とフラットにお話しすることができて、それがどんなに救いになったかしれません。さらに、実際のビジネス上のメリットもたくさんあって、これまでも地方のいろんな方と仕事をさせてもらっていますし、これからもチャンスがあればご一緒するつもりです。最初にも言いましたが、倉青協の全国のネットワークというのは本当に心強いし、お客様にノーと言わないで済むというだけでも、僕にとっては本当にありがたいことです。

社内では相談しづらいことも、倉青協だったら相談できるのですね

曾根　社内で何でもすべて相談しているようでは、ある意味、経営者とは言えないと思います。それくらい経営者が悩むべき問題はたくさんあって、それは同じ経営者仲間に相談させてもらったり、相談しないまでもちょっとした会話の中で、なんとなく答えのようなものが見つかったりするのです。また、倉青協には勉強会も豊富にあるので、そこに参加する中で、課題を解決する上でのヒントをもらうことも多々ありました。

倉庫を心から愛する、全員参加型の会を目指してほしい

在籍時に取り組んだことで、これはよかったと思うことはありますか

曾根　一番お役に立てたであろうことは、僕が会長になる時、副会長を4名体制にしたことですね。副会長はずっと3名という規約だったのですが、僕が副会長の時から、4名にしようと声を大にして唱えまして、最終的に4名になりました。あと運営面で気にかけたのは、寂しそうな人を作らないこと。宴会であれば、壁の花を作らないための努力として、会場のこのエリアは誰々さんに任せると決めて、もし誰とも話していない会員がいたら、声をかけるようにお願いしました。特に新入会員とか会員歴の浅い子たちに寂しい思いをしてほしくないので。そうした気遣いは、今の体制でも受け継がれていると思います。

倉青協の目指すべき未来とは、どのようなものでしょうか

曾根　僕はいろいろな会に参加するのですが、やはりこういった会で3割、4割の方が幽霊会員だと、それだけでどこかしらけてしまいます。倉青協のあるべき姿として、例えば150名の会員全員が積極的にこの会に参画し、管轄省庁である国交省さんに対してもどんどん提案をする。その前提として、全員が心から倉庫を愛し、倉庫のためにアクティブに協議会に尽くすような、全員参加型の倉青協になってくれたらいいなと常々思っています。もちろん倉青協ならそれは十分に可能なはずです。
国交省で5年に一回、国の物流施策の指針となる物流大綱を発表しますが、実際、プレイングマネージャーとして現場の最前線で戦っているのは、倉青協の皆さんぐらいの年代です。そういった方々が倉庫業法や税法を含めてしっかりと自分たちの意見を言い、提案することで、より明るく楽しい倉庫業界を作っていってほしいですね。

自社についても未来に向けた取り組みがあれば教えてください

曾根　会社は、10年、20年といった長いスパンでの未来についてはあえて決めないようにしています。ただ3年、5年で言うと、当然のことながら自動化と機械化は免れませんので、ここは業界で出遅れないよう積極的について行って、一定の存在感を出せるよう頑張っていきたいと思います。
それから現在、当社で唯一持っていない、冷蔵・冷凍を備えた三温度帯の大きな倉庫を、できれば3年以内に展開したいとも考えています。
もう一つ、じつは今、倉庫でキクラゲの水耕栽培をやりたいと思っているんです。キクラゲって栄養が高くて、ビタミンB2もすごいんですよ。倉庫だけ真剣にやっていても息が詰まっちゃうので、社員のため、そして世界の人々の健康のためにキクラゲをたくさん作ろうと思います。僕はこれまで、時には大企業よりも先にいろいろなことに挑戦してきました。大丈夫かと心配されることも多かったけれど、先にやったからこその恩恵を今たくさん享受しています。だからこれからもチャレンジを続けていきたいですね。

Spotify　listen　YouTube
このインタビューのラジオはここから！

2013-2015

―スローガン―

NO倉庫、NO LIFE！

強い絆で明るい未来を拓こう

会長所信

倉庫、倉庫業にあらためて感謝しつつ、会員同士の絆をさらに強く太いものとすることで、会員同士が、互助・互恵の精神で共栄できるようにします。
また、会員企業社員による企業交流を継続する。倉庫現場見学の他、倉庫業から派生する新たなビジネスの模索・検討会を開催します。そして、前会長体制時に、皆さんの精力的な勧誘活動により150名体制が実現をした。この2年間は内容をより充実させ、会員の出席率向上を目指します。
最後に、10年後の運営を見越して、ホームページの刷新やSNSの更新は勿論のこと、事務局作業の合理化を行ってまいります。

■2013（平成25）年度 倉青協役員および各委員会構成

会　長		東　京	株式会社ダイワコーポレーション	代表取締役社長	曽根和光
副会長	運営	東　京	共進倉庫株式会社	代表取締役社長	田澤正行
副会長	組織活性化	宮　城	株式会社白石倉庫	代表取締役社長	太宰榮一
副会長	IT	大　阪	阪南倉庫株式会社	専務取締役	堀畑浩重
副会長	企業交流	静　岡	株式会社富士ロジテック	代表取締役社長	鈴木庸介
委員長	IT	山　梨	丸一倉庫株式会社	専務取締役	堀内　信
委員長	企業交流	東　京	株式会社ウインローダー	代表取締役社長	髙嶋民仁
委員長	組織活性化	東　京	高取ロジスティクス株式会社	取締役営業部長	高取亮太
委員長	運営	埼　玉	小山企業株式会社	代表取締役	小山嘉一郎

全体会・総会・事業の記録（2013年6月11日から2015年6月12日まで）

2013

2013 6/11 第41回総会・第131回全体会・創立40周年記念式典
東京（芝パークホテル）

総勢100名以上の参加をいただき、曽根新会長から新しいスローガンが掲げられ、互助・互恵の精神を大切に、倉青協を盛り上げていきたいと抱負を語りました。記念式典には、国土交通省、日本倉庫協会、日本倉庫経営者倶楽部からご来賓を迎え、倉青協OB会員も多数出席していただきました。

2013 10/9 平成25年度第1回企業交流会
東京（株式会社ウインローダー東村山センター）
国境を越えた循環型物流

2013 10/10 第132回全体会（静岡）
静岡（ホテルアソシア静岡）

清水駅にて3班に分かれてバスに分乗し、それぞれが順次、清水埠頭株式会社サイロ、清和海運株式会社倉庫、鈴与株式会社コンテナターミナルの視察を行いました。
●講演会
Managerの役割
株式会社富士ロジテック 鈴木威雄 様

2013 11/13 首都圏ブロック懇親会
東京（品川屋形船）
五輪が物流に与える影響／高取ロジスティクス 高取亮太 様

2013 12/13 東海ブロック懇親会
浜松（マイン・シュロス（浜松倉庫様運営））
内陸フロンティアについて／浜松倉庫株式会社 中山彰人 様

2014

2014 1/29 常任幹事会
東京（芝パークホテル）
物流政策の現状と課題について／国土交通省 岩城参事官

2014 2/6 近畿ブロック懇親会
京都（鳥せい（伏見倉庫様本家直営店））
近畿エリアの物流不動産の実態／阪南倉庫株式会社 堀畑浩重 様

2014 3/12 平成25年度第2回企業交流会
山口（株式会社ブレインみかん農園
日本果実工業株式会社久賀工場）

2014 3/13 第133回全体会（広島）
広島（リーガルロイヤルホテル広島）

ゲイソー・ロジスティクス株式会社　志和物流センター、新生倉庫運輸株式会社広島東部グループの視察を行いました。
●講演会
「地域での役割」
田中倉庫運輸株式会社 田中一範 様

2014 4/11 東日本ブロック懇親会
仙台（おか星）
●講演会
被災した後の本当のところの話／東邦運輸倉庫株式会社 黒川久 様

2014 5/21 中国・四国・九州ブロック懇親会
高松（鳥源）
●講演会
地方倉庫業の変遷／高松臨港倉庫株式会社 山田英之 様

2014 5/30 平成26年度第1回企業交流会
愛知（株式会社トヨタ自動織機高浜工場）
「カイゼン」とは？「安全」とは？物流人材の育成方法を学ぶ

2014 7/2-4 40周年記念研修
沖縄（沖縄西濃運輸様など）

2014 6/13 第42回総会・第134回全体会
東京（芝パークホテル）

第134回総会は会員70名が出席し、平成25年度事業報告および決算報告、平成26 年度事業計画および収支予算の報告が行なわれ、すべての議案について承認された。

2014 10/9-10 第135回全体会（郡山）
郡山（郡山ビューホテルアネックス）

郡山での全体会開催は曽根会長就任以来の強い希望であり、初日には地元企業の倉庫見学、2日目には被災地視察会を実施しました。福島の“今”を知ることで、災害と真の復興について改めて考える貴重な機会となりました。

2014 9/19 平成26年度第2回企業交流会
大阪（谷川運輸倉庫株式会社）
紙のサプライチェーンおよび匠の技を学ぶ

2014 12/12 近畿西日本ブロック懇親会
神戸（森本倉庫三宮ビル北館建設現場見学）
倉庫業以外の事業とのコラボ

2015

2015 1/29 常任幹事会
東京（芝パークホテル）
国土交通省との意見交換会

2015 1/30 首都圏東東京ブロック懇親会
東京（鈴木興産様ギャラリー倉庫）
都心にかまえる倉庫での事業活用事例／
鈴木興産株式会社 鈴木明弘 様

2015 3/5 第136回全体会（大阪）
大阪（ANAクラウンプラザホテル大阪）

会員数が増える中、会員相互の情報交換を活性化するための一つの方向性を示す、非常に有意義な体験となりました。
●講演会
倉庫関連政策と最適配置システム
国土交通省 平山課長補佐

2015 4/9 北日本ブロック懇親会
札幌（札幌三信倉庫蔵・デ・イン）
トランクルーム蔵・デ・イン事業について

2015 5/13 西東京・神奈川・北陸・東海ブロック懇親会
神奈川（大黒倉庫、三菱倉庫、
物産ロジスティクスソリューション）
三菱倉庫南本牧コンテナヤード、セブンイレブン鶴見常温一括センター見学

2015 5/20 平成26年度第3回企業交流会
大阪（JR吹田貨物ターミナル）
トラックドライバー不足と世間では言われている最中、
鉄道輸送について学ぶ

2015 6/12 第43回総会・第137回全体会
東京（芝パークホテル）

太宰新会長の新スローガンのもと、全体会の分科会等を通じて、会員相互のより活発な意見交換を推進すると共に、新たに広報委員会を設けて、業界内外との交流を活発化させていきたいと抱負を語りました。

一般社会・物流の動き

2013

6月 ● 「三保の松原」を含む「富士山」が世界文化遺産に決定
7月 ● 国交省に物流審議官ポストが誕生
● 参院選で自民、公明両党が過半数獲得、ねじれ解消
9月 ● 2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定

2014

3月 ● 日本一の超高層ビル「あべのハルカス」開業
4月 ● 消費税率が5％から8％に引き上げ
8月 ● 広島で土砂災害、住宅流され74人死亡
● 「荷主と物流事業者が連携したBCP策定促進に関する検討会」を発足
9月 ● 御嶽山が噴火、57人死亡6人不明

2015

3月 ● 東京-金沢間を結ぶ北陸新幹線が開業
● 首都高速中央環状線が全線開通

2015

SOKO goes on!!
Talk About SOKO, More Deeply!!

2017

第21代会長（2015.6～2017.6）

太宰榮一 だざい　えいいち

株式会社白石倉庫　代表取締役社長

1967年生まれ、宮城県出身。
1989年　明治大学経営学部卒業
1989年　三菱倉庫株式会社入社
1996年　株式会社白石倉庫入社
2010年　代表取締役社長就任
1996年に倉青協入会。

戦跡視察、慰霊巡拝活動を行いながら、軍事研究と庭いじりに勤しんでいます。旅とDUA LIPA大好きの壮年経営者は、早めの事業承継を目指し、バックパッカー復帰を目論見ます。倉庫屋の仲間を巻き込んで、世界のエアショー、いろんなところに行きたいです！ I LOVE AIRPLANE NOISE!

株式会社白石倉庫
https://www.shiroishi.co.jp/

Spotify　Listen　YouTube
このインタビューの
ラジオはここから！

大切にしたいのは地元宮城への貢献と働く人たちの満足度

白石倉庫様の事業について簡単にお聞かせください

太宰　創業当初から地元の農産品を多く扱っていて、現在もコメ、麦、大豆など農産物の取り扱いが4割ぐらいです。宮城県内に15拠点ほどあって、“青い倉庫”として地元では存在が認知されてきました。この街に倉庫はないかと聞かれた時に、「このエリアなら白石さんの倉庫があるよ」と言ってもらえるよう、お客様のロケーションニーズに配慮して細かく拠点を置いています。「地域に貢献する企業であれ」という企業理念のもとに仕事をしており、最近では何社かのパートナーとグローバル物流のアライアンスを組んで、このエリアから海外へ出て行くもの、海外からこのエリアに入ってくるものをサポートできるような“グローカルサービス”も提供しています。

商工中金のポジティブインパクトファイナンス（PIF）融資の国内第1号企業に選定されたそうですね

太宰　PIFは環境面や社会面にポジティブなインパクトを生み出すような企業活動を支援する融資で、商工中金さんからお声がけいただき取り組んでみることにしました。当社の事業内容を見てもらって、すでに女性管理職の割合が半分を超えていることや、コンテナを回収・洗浄して再利用する静脈物流に積極的に取り組んでいることなどを改めて評価していただきました。自分たちとしては当たり前にやってきたことですが、外部の専門機関に客観的に会社を見てもらう機会を作れたのはよかったと思います。

とくに今回、PIFの中で本気になってやろうと考えているのが、従業員の幸福度を測る「幸せデザインサーベイプロジェクト」です。当社は3，4年前から独自の評価制度を取り入れていますが、それは会社が社員さんを評価する制度です。一方、幸せデザインサーベイは、社長や会社を社員さんが評価するもので、仕事のやりがいや満足度も質問項目にあり、経営者側として社員さんの声に耳を傾けるいい機会になっています。7年後には点数で評価が出るので、社員さんたちにもっとやりがいや幸せを感じてもらえるよう努力していこうと思っています。

社長になるという意思を固めたのはいつ頃ですか

太宰　子供の頃から父や祖父の仕事を見ていたので、いつか自分が倉庫業を継ぐという気持ちはずっとありました。そのためにまずは倉庫業界を勉強しなければと考え、三菱倉庫さんに就職し、その後、白石倉庫に戻ってきて26年になります。

最初の10年近くは、どちらかというと業容の拡大といった方向を見ていたのですが、途中から、うちの会社は地方の中小企業だけど、働いていて「この会社がいい」と言ってもらえるような運営がしたいと思い始めたんですよね。それで、どんなに景気が悪くても賞与をカットしたり、給料を下げたりは絶対にしないと決めました。実際26年間、給与は1円も下げていません。3.11で2年ぐらい業績が大幅に落ちた時も、給与と賞与には手を付けませんでした。その分会社は赤字になるので経営者としては失格かもしれないけど、社員さんの生活だけは守りたかった。

震災を通して改めて感じた倉青協の強い絆

倉青協へはどのような経緯で入会されたのでしょう

太宰　倉青協は全国の団体ですが、宮城県にも地元の倉青協があって、三菱倉庫さんを辞めた後、会社に行くより先に宮城の倉青協にあいさつに行って、そのまま沖縄研修に参加しました。その時、蜂谷運輸倉庫の先代社長に全国の倉青協にお誘いいただいて、平成8年に入会しました。その年の同期には、野口倉庫の野口さん、ダイワコーポレーションの曽根さん、醍醐倉庫の醍醐さん、共進倉庫の田澤さんなど面白いメンバーがそろっていて、26年経った今も当時のまま仲良くお付き合いしています。

東日本大震災に遭われた時のことをお話しいただけますか

太宰　たまたま自宅にいる時に被災して、初日は全く状況もわからず、何とか会社にたどりついて倉庫を開けたら、ほぼすべての荷が崩れて滅茶苦茶になっていて、事業を再開するのは厳しいのではないかと思うほどでした。

そうした中、倉青協の仲間たちがいち早く、我々東北メンバーをサポートしてくれました。地震の翌日夕方には支援物資が届き、さらに当時の淺野会長が基金を立ち上げて、各社からボランティアで社員さんを派遣してくれたのです。九州から北海道まで、延べにしておそらく三百数十人が全国から応援に来てくれました。倉青協メンバーの各会社のユニフォームを着た倉庫マンたちが、うちの倉庫で力を合わせながら作業をしている光景は、決して忘れることができません。誰もが倉庫の現場を熟知していて無駄なく効率的に動いていて、倉青協メンバーの会社の社員さんはやっぱりレベルが高いと思いました。おかげで当初、半年から1年はかかると思っていた荷直し作業を3か月ぐらいで終えることができました。本当にみんなに助けてもらって、倉青協には感謝しかありません。

防災無線ネットワークを立ち上げられましたね

太宰　我々の経験をできるだけ各社の防災に役立ててほしいと考え、機会があれば震災時の話をして情報共有しています。とくに3.11の時は、初動の3日間に連絡が取り合える体制が、被災者側、支援者側双方にとって非常に重要であることを痛感しました。それで倉青協のみんなに声をかけて、防災無線ネットワークを立ち上げました。防災用の無線を有志の会員で整備して、各社で持っています。今、20社弱が参加していて、拠点は80拠点ぐらいあると思います。さらに、若い人たちはLINEなどの新しいツールを使って、より使いやすい防災ネットワークを作ろうと取り組んでいるようです。そうやって新しいものを取り入れて、現状の体制を改善していく姿勢が倉青協らしくて、頼もしく感じますね。

倉庫業界をよりよくする提言を発信し続けてほしい

倉青協が5年後、10年後にどうなっていたらいいと思いますか

太宰　倉青協は親睦と勉強がモットーなので、楽しく交流するのはもちろん大事ですが、倉庫業に関して勉強を続けて、業界がどうしたらいいかという発信をしていける団体であってほしいと思います。

倉庫には雨でも荷物を濡らさないために大きい庇が必要ですが、現行の建築基準法上で庇として認められるのは1メートルだけなんです。これは合理的でないので、我々は十数年前から、庇を12メートルまで建蔽率から除外してほしいと提言し続けてきました。3.11後には、仙台港の復興特区のテーマの一つとして、営業倉庫の庇の建蔽率除外を県知事経由で国土交通省まで出してもらったのですが、最終段階で認められませんでした。それでもここ数年、日倉協さんがそれをつないで要望を出し続けてくれていて、とうとう法律が変わり、来年1月から倉庫の庇は5メートルまで建築面積から除外するよう緩和されたのです。これは画期的なことで、倉庫業界から発信して法律を変えたというのはすごく大きいと思うのです。

一つの会社が法律を変えようと思ってもなかなか難しいけれど、みんなで声を挙げ続ければ、時間はかかっても行政側が吸い上げてくれるようになる。そう教えてくれたのは、倉青協の先輩方でした。国土交通省の物流効率化法も、倉青協から発信をしてできた法律です。先輩たちの話を聞くと、自分の経験していないことや発想したことのないアイデアをもらえます。あるいは後輩の人から、思いもよらない気づきをもらうことも多々あります。そういう意味で、上下関係なくいろんな意見の交換ができる倉青協は、本当に素敵だなって思いますね。

現役メンバーの方々にメッセージをお願いします

太宰　倉青協は、自分が本当にこの会を好きになって積極的に参加すればするほど、自分にとってもいい会になっていくと思います。

全体会でも常任幹事会でも、出席したら何か一つは発言することを私はずっと心がけていました。放っておいても懇親はみんなガンガンやるでしょうから、せっかく参加したら、何か一つは自分から発信して帰る。さらに何か一つは学んで自分の会社に持ち帰るような、成長と学びの場にしてもらえたらいいのではないでしょうか。そういう参加の仕方をしていたら、自分にとってもっと面白い倉青協が見えてくると思います。

2015-2017

Talk About SOKO, More Deeply!!

SOKO goes on!!

―スローガン―

会長所信

倉庫業の未来については、「倉庫業の未来は先細りである。」「産業構造の空洞化等の影響により、中小倉庫会社の活躍の場は、徐々に少なくなり、限定されてくる。」「外資系、国内系不動産ファンド等の台頭により、新たな物流プレーヤーに取って変わられる時代が来る。」

等々、とかく悲観的な論調で、議論される事が多い。しかし、本当にそうでしょうか?

いやいや、そんな事は絶対ない!!

やはり、我々、倉庫業は、日本経済にとって必要不可欠なサービス、業種であり、東日本大震災を経験し、我々が地域社会から必要とされている事実を実感した筈です。

倉庫業界にも、まだまだビジネスチャンスは眠っており、港湾、空港、鉄道等、高度経済成長期に整備された社会インフラが経年劣化により再編されつつある現在、国土強靭化政策と顧客ニーズをベースとしたモーダルシフトに対応していく事が次世代の新たな物流サービスを創り上げていく事に繋がるのではないでしょうか?

我々、倉青協のメンバーが、「もっともっと倉庫について、熱く語り、より深く議論していきましょう!」をテーマとして活動していく事により、倉庫屋が胸を張って商売を続けていける未来を切り拓いていきましょう!!

SOKO goes on!!

■2015(平成27)年度 倉青協役員および各委員会構成

会長		宮城	株式会社白石倉庫	代表取締役社長	太宰 榮一
副会長	企業交流	京都	冨士倉庫運輸株式会社	代表取締役社長	兼元邦浩
副会長	IT／広報	兵庫	神明倉庫株式会社	取締役社長	藤尾憲弘
副会長	運営	埼玉	野口倉庫株式会社	代表取締役社長	野口英徳
副会長	組織活性化	東京	高取ロジスティクス株式会社	取締役営業部長	高取亮太
委員長	IT	大阪	阪南倉庫株式会社	専務取締役	堀畑浩重
委員長	広報	静岡	株式会社富士ロジテック	代表取締役社長	鈴木庸介
委員長	運営	福島	東日本倉庫株式会社	代表取締役社長	馬場俊彰
委員長	企業交流	埼玉	小山企業株式会社	代表取締役	小山嘉一郎
委員長	組織活性化	大阪	谷川運輸倉庫株式会社	常務取締役	谷川隆史

全体会・総会・事業の記録 (2015年6月13日から2017年6月9日まで)

2015

2015 6/30 歴代会長との意見交換懇親会
東京(芝パークホテル)

2015 8/20 平成27年度第1回企業交流会
京都(ニチユ三菱フォークリフト本社・京都工場)
見学会および研修会

2015 9/3 埼玉・九州ブロック懇親会
福岡(博多中洲「河太郎」)
世界遺産登録後の人と物の流れの変化・軍艦島クルーズ(上陸ツアー)

2015 9/25 全ト協との意見交換会
東京(全日本トラック総合会館)

2015 11/11-12 第138回全体会(名古屋)
名古屋(東京第一ホテル錦)

飛島コンテナ埠頭株式会社様のご案内のもと、自動搬送台車(AGV)や遠隔自動RTG、巨大ガントリークレーンなどを視察しました。

2015 12/3 東京ブロック懇親会
東京(乾汽船株式会社/月島荘)
企業寮をShareするという試みを学びました

2016 1/25 常任幹事会
東京(芝パークホテル)

●講演会
トラックドライバー不足時代に対応する鉄道コンテナ輸送サービスモデル
日本貨物鉄道株式会社 犬飼様など

2016 2/16 平成27年度第2回企業交流会
埼玉(京葉流通倉庫株式会社戸田物流センター)
見学会・研修会および講演会

2016

2016 3/10-11 第139回全体会(松山)
松山(道後温泉ふなや)

道後温泉の老舗旅館「ふなや」をメイン会場に、松山港見学会、分科会、全体会、さらに浴衣姿での懇親会と、盛りだくさんな内容で非常に充実した会となりました。

2016 5/12-13 北海道・大阪・兵庫・沖縄ブロック懇親会
北海道(小樽、余市等)
北海道の地元らしさを体験しました

2016 5/18 自民党青年部との交流会
東京(永田町 南甫園)

2016 6/10 第44回総会・第140回全体会
東京(芝パークホテル)

全体会での分科会の実施や、全ト協との意見交換会、自民党青年局との意見交換会など、新しい試みに積極的に挑戦してきたこの1年を振り返り、さらに残り1年の後半戦に向けて、各委員会からさまざまな活動計画が発表されました。

2016 5/18 青冷協との意見交換会
東京(芝とうふ屋うかい)

2016 8/25 平成28年度第3回企業交流会
大阪(ホテル日航関西空港)
見学会および研修会

2016 9/6 全ト協・全産連との意見交換会
東京(全ト総合会館)

2016 9/14 東北・北関東・北陸・千葉・山梨ブロック懇親会
秋田(秋印株式会社)
秋田での物流現状及び秋印様の経営戦略について

2016 11/9-10 第141回全体会(金沢)
金沢(金城樓)
金沢に本社を置くマテハンメーカーのホクショー株式会社を見学。倉庫内の荷役作業の省力化を目的とした同社の製品について説明を受け、工場内の様子やデモンストレーションを興味深く見学しました。

2016 12/2 神奈川・静岡・京都・滋賀ブロック懇親会
奈良(正倉院)、京都(八坂通 燕楽)
奈良の歴史見学、現代の物流現状及び各社の経営戦略について

2017

2017 1/26 常任幹事会
東京(芝パークホテル)

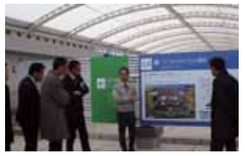
事前に実施された「物流現場の生産性向上に関するアンケート」をベースに、労働力不足や高齢化などの現場が直面している課題や、ロボット化などの設備投資等に関して、活発な意見出しや質疑応答が行われました。

2017 2/23 平成28年度第4回企業交流会
横浜(株式会社ダイワコーポレーション横浜本牧営業所)
見学会および研修会、IT委員会主催体験型講演会

2017 4/20 日本危険物倉庫協会との懇親会
東京(芝とうふ屋うかい)

2017 5/11 全ブロック懇親会
沖縄(沖縄西濃運輸株式会社/那覇市、沖縄データセンター(FRT社))

2017 3/9-10 第142回全体会(博多)
博多(ホテルニューオータニ博多)



福岡の青果市場「ベジフルスタジアム」を訪問。施設の方から概要についてお話し頂いた後、2016年にアイランドシティにオープンした国内最大規模とされる最新鋭のコールドチェーン対応施設を見学しました。

2017 5/16 自民党青年局・青冷協との懇親会
東京(都市センターホテル)

2017 6/9 第45回総会・第143回全体会
東京(芝パークホテル)
太宰会長が任期満了を迎え、東京倉庫運輸の池田雅一氏が新会長に就任。池田新会長は、「温故知新～50周年とその先の未来に向かって～」を新スローガンに掲げられました。

一般社会・物流の動き

2015

- 6月 ● 選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が成立
- 10月 ● マイナンバー制度がスタート
- ● 環太平洋パートナーシップ協定(TPP)の閣僚会合で、日本、米国を含む交渉参加12カ国が貿易・投資ルールについて大筋合意
- 11月 ● 日本郵政グループ3社が上場

2016

- 4月 ● 熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生
- 5月 ● アメリカのオバマ大統領、現役大統領として初めての広島訪問
- 8月 ● ブラジルのリオデジャネイロで夏季五輪開催
- ● 明仁天皇、退位の意向
- 10月 ● 改正物流総合効率化法が施行、連携して流通業務を省力化する事業も認定対象に
- 12月 ● 国交省が自動車の自動運転の実現を目指し「自動運転戦略本部」を設置

2017

- 3月 ● イギリス政府、EU(欧州連合)離脱を正式に通知

2017

温故知新
50周年とその先の未来に向かって

2019

第22代会長（2017.6～2019.6）

池田雅一 いけだ　まさいち

東京倉庫運輸株式会社　代表取締役社長

1970年生まれ、東京都出身。
1992年　成城大学経済学部 卒業
1995年　澁澤倉庫株式会社 入社
2002年　東京倉庫運輸株式会社 入社
2015年　代表取締役社長 就任
2002年に倉青協入会。

コロナ禍、緊急事態宣言中に役割分担で週二日料理をすることになり、簡単な物から作り始めましたが献立や素材を選ぶなど結構楽しく、今では道具にも凝り本格的な料理まで作れるようになりました。緊急事態宣言明けから今でもほぼ週末は料理をしています。

東京倉庫運輸株式会社
https://www.foun1920.jp/

4つの経営理念が支える、倉庫を軸とした多角的な事業展開

池田さんは幼少期から後継ぎであることは意識されていましたか

池田　名前に一がつくとおり長男で、祖父母や親戚からもよくそういう話をされていたので、自分が継ぐのだろうと素直に受け入れていました。とはいっても社長になることについてあまり考えていたわけではなく、実際、倉青協に入会して、そこですでに社長になっているたくさんの先輩方を見ながら学んでいった感じです。

大学を卒業してから、世界を知りたくてカナダに留学しました。語学学校に行って、大学の入学許可ももらったんですけど、いい加減帰って来いと親に言われて、泣く泣く夏に帰国したのです。それからすぐ澁澤倉庫さんの入社試験を受け、9月からそこでアルバイトをして、4月に正式入社しました。澁澤倉庫さんでは3年現場をやり、2年経理部にいて、2年は営業をやって、合計7年間お世話になった後、東京倉庫運輸へ入りました。

東京倉庫運輸様は100年の歴史がある倉庫会社ですが、倉庫のリノベーションやレンタル倉庫、アートスペースとしての活用など、多角的な事業展開をされていますね

池田　会社は港区にあって、昔は物流にいい立地だったのです。しかし、都市の発展とともに周辺にマンションが立ち並び、フォークリフトがバックする音がうるさいとか、砂糖や黒糖などの匂いで異臭がすると通報されたり、倉庫の前の道が通学路になったりして、ほとんど倉庫が営業できる状況ではなくなってきてしまいました。そこで苦肉の策ではないですが、倉庫業から発展していったのが、レンタル倉庫、倉庫の空間を利用したリノベーションといった物流不動産的な動きです。90年代前半にはちょっと話題になったディスコの経営もしていて、それは港区の歴史の本にも載っています。

当社には、先代、先々代からずっと教えられてきた4つの経営理念があります。それは、「他人の利益や発展のために尽くせば、自社の利益につながる」、「小欲知足」、「得られた財産、土地や建物は預かりものだと思って大切に使う」、「仕事は奉仕」というものです。そうやっていると、周りの方が自然と応援してくれて、輸送センターを一括で借りたいとか、新しく建てた倉庫兼オフィスをデータセンターとして使いたいとか、そういう話がどんどん来て、結果的に事業が広がっていったのです。

このインタビューのラジオはここから！

その意味では、まだ自分では新しいことはやっていません。いよいよ倉庫の建て替えを考えようという時に東京オリンピックが決まって、その時点で建設的なことをするのはリスクがあるので、オリンピックが終わってからと思っていたところに、今度はコロナが来てしまった。そのほか社内的にもいろいろあって、しばらくは耐えの時期でした。そろそろ落ち着くので、何か考えていくつもりです。

一人でも多くの会員に倉青協のすばらしさを知ってほしい

倉青協には、会社に入社してすぐに入られたのですか

池田　2002年（平成14）の4月に今の会社に入り、12月1日に倉青協に入会しました。紹介者は第17代会長の鈴木又右衛門さん（太成倉庫）です。お父様が初代の会長で、又右衛門という名前を代々継いでおられます。鈴木さんは東京倉庫協会の先輩で、鈴木さんが若い頃はうちの父がいろいろ教えて、うちの父は鈴木さんのお父さんに教えてもらって、そのお父さんはうちの祖父にと、ちょうどジグザグに世代ごとの深い関係が続いているんです。そんな方から「こういう会があるからぜひ入りなさい」と言われたら、断れるわけありませんよね。考える間もなく、その場で申込用紙にサインしました。

倉青協に入られて、これは課題だと思ったことはありましたか

池田　年々会員数が増えていったのですが、出てくる人は決まっていて、顔ぶれが毎回同じなのが少しもったいないと思いました。それで僕が会長の時は、全体会はもちろん、各委員会の事業として企業交流会やブロック懇親会など、毎月何かしらやっていました。あとは、トラック協会や冷蔵協会、自民党の青年局、国交省といった他団体との交流も活発に行いました。イベントの機会を増やすことで、一人でも多くの会員が会に参加するようになればいいという思いです。

それから全体会の開催地は、新規会員の開拓も兼ねて、これまで開催したことがない県と、会員がいない県から選びました。ただ、通常、全体会の準備は地元会員の方に非常にお世話になるんですが、会員が誰もいない県だと、自分たちで事前に何回も行って準備しなければならず、そこは苦労しました。

もう一つ、「来られない人がいるなら、こちらから出かけて行こう」と思いついて、僕のほうから全国各地を訪問しました。愛媛に行った時は四国や中国のメンバーで集まったし、九州や関西、北海道にも行きました。

直接顔を合わせて集まると、何か違いますか

池田　もちろんです。例えば経営の問題で悩んでいて、どうですかねって言うと、「こうしたほうがいいよ」とか、「それをやっちゃダメでしょ」と、その場で経験談やソリューションが次々出てくる。それは、直接会って話しているからこそでしょう。

全体会でも同じで、改めて会議の場で相談しなくても、朝食会場とか移動のバスの中で、たまたま隣りに座った人同士で雑談する中で、いつの間にか仕事が生まれていたり、問題が解決したりするんです。これが倉青協のすばらしさですよね。

長い歴史のつながりと、人と人とのつながりを大切に

会の運営で大変だったことは何ですか

池田　事務局は会長の会社の社員さんが担当するのですが、会員の人数が多くなると対応も大変です。今までは手弁当で、お金をもらわずにやっていましたが、さすがに150人を超えて事務局の負担が大きくなっていたので、事務局費用としてある程度、会からお金をいただく形にしました。あとは、年会費が40年ぐらいずっと据え置きだったので、誰かがやらなければいけないということで、会費の値上げを実施しました。

スローガンを「温故知新」にされた思いを聞かせてください

池田　僕が会長になったのが45周年の時だったので、その先の50周年が目前で、長い歴史を次につなげていきたいという意味も込めて「温故知新」にしました。

「温故知新」を実践するため、全国に会員を訪ねて行った際には、OBの方々にも声をかけさせていただきました。その結果、全体会などの行事以外で、OB会員も含めて2年間で19道府県、128名の方々と交流し、いろいろなお話を聞くことができました。

倉庫業は5年後、どう変わっていると思いますか

池田　5年後だと、まだそれほど変わっていない気はします。物流DXとか5Gといったことで何かしら新しくなる部分はあっても、基本的にはつながりが大事だと思うので、そこは変わらないでほしいですね。コロナが落ち着いて、もっと以前のように交流ができればいいと思います。倉庫業も倉青協も、やっぱりつながりが切れてしまうようなことにはなってほしくないです。

倉青協が目指すべき未来像を教えてください

池田　若手の皆さんに期待するだけです。僕は今度の6月でもう卒業なので、本当はちょっと面倒くさい先輩になって難しいことを言おうかとも考えていたんですけど、やっぱりとにかく楽しんでもらいたいですね。皆さんが楽しくやっていれば、それを見て入会したいと思う人も出てくるはずです。少なくとも僕はそういう思いで、最高の仲間たちと一緒に会長を2年間楽しみました。大変なこともあるかもしれませんが、メンバーのつながりを大切にしていれば未来は安泰です。

やはり“つながり”が一番重要なのですね

池田　それは歴史も証明しています。震災の時、倉青協のネットワークでいち早く物資が届けられたり、支援があったりというのを、僕らは目の当たりにしていますから。

仕事や経営で悩んだ時、一人で悩んでいても仕方ない。じゃあ誰に相談するのがいいのかといえば、同じような経験をした仲間に相談するのが一番のはずです。

2017-2019

50周年とその先の未来に向かって

温故知新

―スローガン―

会長所信

90年代後半の金融制度改革に始まった規制緩和の波は我々倉庫業界にも押し寄せ、海外より物流不動産ファンドが上陸しメガ倉庫が建設され始めました。2001年には省庁再編で運輸省と建設省が一緒になり国土交通省ができ、倉庫業法が一部改正され、物流の効率化と競争力の強化を目的に規制緩和が進んで来ました。それから15年、アベノミクスによるデフレ脱却により、荷動きは全般的に堅調に推移しているものの、一方でトラック運賃・パート人件費・建設コストの上昇・増加といったコストアップ要因、メガ倉庫の大量供給やドライバー不足など我々を取り巻く環境の変化が激しく、倉庫業が豊かで安定した生活を支える基盤として、公共性の高い事業として、時代の変化・ニーズに的確に対応しつつ常に発展をつづけて行くために我々に何ができるのか、倉庫業のあり方が問われています。
また安全性やコンプライアンスの確保が重要性を増し、荷主ニーズの高度化・多様化に伴い我々の提供するサービスの品質確保が強く求められています。
そのような状況下、2017－2019の倉青協は、王道としての倉庫愛を持って新しいことにチャレンジしつつ、温故知新の心を大切に会の運営に当たって参ります。直近3代の会長の下皆様で築きあげた150名体制を維持・発展させるべく、「親睦と勉強」の理念の下、全体会を中心に「変化に対応できる人材の育成」と「会員企業の体力強化」に繋がるように積極的な活動を行います。43年間先輩たちが築き上げてきた歴史、そして何よりも我々の強固なネットワークを誇りに、続く世代への架け橋として2年間邁進していく所存です。皆様に感謝し、皆様と奉仕し、共に繁栄する倉青協でありたいと思います。
50周年とその先の未来に向かって。

■2017（平成29）年度 倉青協役員および各委員会構成

会　長	東	京	東京倉庫運輸株式会社	取締役社長	池田雅一
副会長 運営	福	島	東日本倉庫株式会社	代表取締役社長	馬場俊彰
副会長 広報	北海道		小樽倉庫株式会社	取締役副社長	山本みゆき
副会長 企業交流	埼	玉	小山企業株式会社	常務取締役	小山嘉一郎
副会長 組織	大	阪	谷川運輸倉庫株式会社	常務取締役	谷川隆史
委員長 企業交流	東	京	株式会社オーティーエス	代表取締役社長	田中優一郎
委員長 運営	東	京	株式会社ウインローダー	代表取締役社長	髙嶋民仁
委員長 広報	宮	城	協和運輸倉庫株式会社	代表取締役社長	髙橋大輔
委員長 組織	東	京	日本流通倉庫株式会社	代表取締役社長	村田龍一

全体会・総会・事業の記録（2017年6月9日から2019年6月7日まで）

2017 平成29年

2017 6/30 国土交通省ヒアリング 歴代会長との意見交歓懇親会
東京（芝パークホテル）

2017 9/14 東京ブロック懇親会
東京（国会議事堂、浅草観光、屋形船）

2017 9/15 青冷協主催勉強会・懇親会
東京（豊海センタービル）

2017 10/19-20 第144回全体会（長崎）
長崎（ザ・ホテル長崎BW）

見学会の後、6年ぶりのエイジグループ分科会が行われ、あえてテーマを決めず、活発な議論を行いました。また、常任幹事会審議事項でYWマークの登録更新が承認されました。

2017 11/7 全ト協青年部会との意見交換会
東京（全ト協総合会館）

2017 11/8 平成29年度第1回企業交流会
厚木（㈱富士ロジテック・ネクスト東名厚木物流センター）
ウェアラブル型音声認識システム導入により飛躍的な生産性の向上を果たした現場で、実作業の見学や実体験会を実施。

2018 1/30 常任幹事会
東京（芝パークホテル）

●講演会
「カリスマ新幹線CA直伝！『あなたから買えてよかった！』といわせる販売術」
株式会社日本レストランエンタプライズ
齋藤泉 様

2018 2/8 中部・西日本ブロック懇親会
名古屋（高倉神社参拝）
業界の氏神様を通じて同業者間の連帯を深める

2018 2/20 全産連青年部会との意見交換会
東京（TKP東京駅丸の内会議室）

2018 平成30年

2018 3/8-9 第145回全体会（那覇）
那覇（沖縄産業支援センター）

25年ぶりとなる沖縄での全体会は、倉青協45周年を記念して作成したおそろいのかりゆしウェアを全員で着用し、開放的な雰囲気の中、倉青協の一体感を再確認し合う、45周年にふさわしいメモリアルな大会となりました。

2018 4/20 日本パレット協会との交流会
東京（ユーピーアール株式会社本社）

2018 4/25 東日本ブロック懇親会
青森（弘前さくらまつり、八甲田ロープウェイ、青森市内観光）

2018 5/17 自民党青年局・青冷協との懇親会
東京（クルーズクルーズTHE GINZA）

2018 5/18 平成29年度第2回企業交流会
埼玉（小山企業株式会社草加サービスセンター）
大手ファッション（靴）製造小売業荷主の物流拠点である現場において、マテハン機器等の導入も無く、限りなく「人力」の対応で効率を高めてきた手法を学ぶ

2018 6/8 第46回総会・第146回全体会
東京（芝パークホテル）

防災無線ネットワークに関わる会則改定や、YWマークの商標権更新などについて審議し全て承認されました。

●講演会
ヤマウと海外事業
株式会社ヤマウ鳥谷部臨海倉庫
鳥谷部眞実 様

2018 7/5 創立45周年記念海外視察
米国（サンフランシスコ他）

2018 10/11-12 第147回全体会（新潟）
新潟（ホテルオークラ新潟）

会員空白県で地方大会を行うという池田会長体制の方針に則り、新潟県での開催となりました。新潟東港近くにある東武運送様で、政府米や輸出龍品などを保管している倉庫を見学しました。海外視察結果や今後の会費の在り方について等の意見交換を行いました。

2018 11/5 全ト協青年部会・全産連青年部との交流会
東京（全ト協総合会館）

2018 11/16 東京ブロック懇親会
神戸（元町別館　牡丹園）

2018 11/22 平成30年度第3回企業交流会（東京）
東京（TRC 東京流通センター 平和島）
シーオス株式会社 代表取締役社長 松島聡 様によるAI自動化システムの活用事例や稼働状況の紹介

2019 令和元年（平成31年）

2019 1/24 常任幹事会 日本貨物鉄道株式会社との意見交換会
大阪（ANAクラウンプラザホテル大阪）

●講演会
経営・ビジネスにも活かせる
筆跡診断
筆跡診断士　山上りるも 様

2019 2/6 中部・西日本ブロック懇親会
広島（お好み焼き勝ちゃん）
セリーグ3連覇広島東洋カープの地元で歴史と食文化を学ぶ

2019 3/7-8 第148回全体会（鹿児島）
鹿児島（城山ホテル鹿児島）
未開催地、会員不在県での開催としてきた池田会長体制で最後は鹿児島で締めくくりとなりました。今回もエイジグループ別の4つの分科会が開催され、また全体会では各委員会からの活動報告があり、懇親会・二次会と趣向を凝らした内容で盛り上がりました。

2019 4/17-19 危倉協・青冷協との3団体交流会
東京（日本外国特派員協会）

2019 4/25-26 全体ブロック懇親会
那覇（瀬長島ISLAND MAGIC）
琉球舞踊鑑賞と南国沖縄を再確認へ

2019 5/14-15 平成31年度第4回企業交流会
仙台（ホテルモントレ仙台）
大規模災害時の実情と対応、その後の防災対策を学ぶ
パネルディスカッションと被災地訪問

2019 6/7 第47回総会・第149回全体会
東京（芝パークホテル）
池田会長から野口新会長へバトンが引き継がれ、新たな一歩を踏み出す形となりました。野口新会長から力強く抱負を語ったと共に、41年ぶりに会費の改訂が承認され、新年度から適用となりました。

一般社会・物流の動き

2017

7月 ● 白鵬、歴代単独1位の通算1048勝目
● 国交省「貨物自動車運送事業輸送安全規則の一部を改正する省令」が施行、荷主都合による荷待ち時間を明記
9月 ● 陸上の男子100メートルで、桐生祥秀が10秒の壁を突破する9秒98を記録
12月 ● 大谷翔平がエンゼルスに入団

2018

2月 ● 韓国の平昌で冬季五輪開催
6月 ● 大阪北部地震で、学校のブロック塀が倒れ通学中の小4女児が死亡するなど6人が犠牲
倉庫業法施行規則等の改正で営業倉庫の「基準適合確認制度」を創設、手続きを簡素化
7月 ● 西日本豪雨は14府県で計220人を超える死傷者を出し、平成最悪の豪雨被害
9月 ● 台風21号が近畿地方を横断し、関西国際空港が閉鎖
● 北海道地震にて、震源地に近い苫東厚真火力発電が停止をして、道内295万戸が停電するブラックアウト発生
12月 ● 政府が「ホワイト物流」推進会議を立ち上げ、企業に「自主行動宣言」を要請

2019

5月 ● 徳仁天皇陛下が即位し、「令和」に改元
6月 ● アメリカのトランプ大統領、初の北朝鮮入り

2019

物流業　変革と挑戦
物流業のイノベーション

2021

第23代会長（2019.6～2021.6）

野口英徳 のぐち　ひでのり

野口倉庫株式会社　代表取締役社長

1972年生まれ、埼玉県出身。
1996年立正大学法学部卒。卒業と同時に野口倉庫株式会社入社。
1998年取締役就任、2011年代表取締役就任。
1996年に倉青協入会。

倉青協を通じて、入会当初は、諸先輩方々から、荷主様への契約書の作成方法や見積作成等、物流業で必要な事柄を学び、更には、リユースサービス会社（リサイクルリンク）を倉青協メンバーが中心となり、起業など色々な協業を行ってきました。倉青協のお陰で、現在の倉庫業としてのビジネスを継続できており、私にとって、最も大事な活動団体です。

野口倉庫株式会社
https://noguchi-soko.co.jp/

Spotify　listen　YouTube
このインタビューの
ラジオはここから！

ＥＣ物流に舵を切り、お客様ニーズに
こたえるサービスを生み出し続ける

個人的なことからお聞きしますが、相当トレーニングされていらっしゃるそうですね

野口　はい、社長に就任した10年ほど前から筋トレを始めて、今現在ベンチプレスで140キロぐらい挙げられます。意外と脱いだら凄いんです（笑）

野口倉庫様は業態としてどのような特徴をお持ちですか

野口　もともとはプラスチック原料や原紙など川上のメーカーの物流がメインだったのですが、1990年代に工場が次々中国に移転してお客様が離れていったのを機に、もっと川下のエンドユーザーに近い消費財を保管する営業を始めて、14、5年前からネット通販会社のEC物流にほぼシフトしています。

通販の物流は、業界でも他にやっている会社がなくて、最初は本当に苦労しました。梱包の仕方すらわからないゼロの状態から始めて、試行錯誤を繰り返しました。これから伸びようというお客様ばかりだったので、一緒に勉強しながら徐々に知識とスキルを身に着け、ギフトラッピング業務の請負など、お客様の細かいニーズを一つ一つ汲み取って、サービスの幅を広げてきたのがこの10年ぐらいです。

数年に一回は新しいサービスを作ろうということで、例えばお客様の代わりに電話を受け受注入力をするコールセンター事業も立ち上げました。また、段ボールなどの資材の販売もしています。資材をうちで取りまとめることで価格が下がり、お客様は煩わしい在庫管理も不要になるので、メリットは大きいと思います。お客様には、良い商品を作ること、その商品を売ること、この二つに集中していただきたい。それ以外の面倒なことは全部うちがやりますというスタンスです。

うれしいのは、社員が皆、喜んで新しいことにチャレンジしてくれるような会社の体質になってきたことですね。それはきっと、一緒に汗をかきながら、こういうことやったらお客様に喜んでもらえるし、それが絶対に売上にもつながると言い続けてきたからだと思います。

海外事業も展開されているとのことですが

野口　曽根さん（ダイワコーポレーション）や高嶋さん（ウインローダー）ら数名の倉青協メンバーと一緒に、リサイクルリンクといって、中古の家具や洋服などを東南アジアで販売するリユース事業を行っています。お客様は通常、売れなかった商品をすべて廃棄処分にするのですが、廃棄は費用がかかるしSDGsの観点からもどうなのかという話があったので、我々でその商品を海外に持っていって、向こうで売れたらお客様に還元する仕組みをつくったところ、お客様からもとても喜ばれています。

すべてをオープンに話し合える
倉青協のありがたさ

倉青協には、いつ頃どのような経緯で入会されたのですか

野口　26年前、僕が24歳の時に、埼玉の京葉流通倉庫の箱守社長に紹介いただいて、その場で入会申込書にサインしました。でも全体会に行ってみたら、青年といっても40過ぎのおじさんばかりで、初めはちょっと敷居が高かったんです。その後、若手メンバーで温泉に行く機会があって、話してみたらみんな境遇や悩みがとても似ていて意気投合し、それから積極的に参加するようになりました。

倉青協に入ると、みんな身内のように思ってくれるんですよね。当時、仕事の悩みをある先輩に相談したら、知り合ってまだ間もないのに、自社の契約書を全部コピーして、これを使えばいいよと言ってくれました。他の業界では考えられないことです。皆さん何でもオープンに話してくれて、全国の先輩方のところをまわって本当に勉強になったし、いまだにお付き合いが続いています。

倉庫業って、競合しない、協業が多いという珍しい業界なんです。うちも今、北海道から福岡まで受託していますが、すべて倉青協のメンバーの方と組んでやっています。

野口会長時代のスローガン「変革と挑戦、物流イノベーション」にはどんな思いが込められているのですか

野口　物流におけるIT化のようなイノベーションを広げていきたいという目標と、倉庫業自体がかなり保守的な業界なので、それを少しでも変えたいという思いで、スローガンに掲げさせていただきました。

倉庫は人件費が占める割合が大きいので、自動化などで人件費を抑えられれば、それがそのまま利益になり、その分、人にしかできない仕事の価値を高められます。あるいは、他より保管料が高くてもお客様が利用したいと言ってくれるようなサービスを構築できれば、それがイノベーションになるのです。

例えば同じ作業でも、人によってかかる時間が違うのはなぜか。それをAIで分析して、どこをどう直せばよりスピーディに作業できるかを論理的に提示するようなことは、今の技術でもおそらく実現可能なのです。0から新しいものを作るのではなく、今やっていることを極めていくのが、我々の業界のイノベーションではないでしょうか。

ところで、会長の任期とコロナ禍が重なったということで、一番苦労されたのはどんな点でしょうか

野口　コロナ禍という経験したことのない状況下で悩みましたが、結局、京都、名古屋、福岡と、地方の全体会はすべて実施しました。やはり若い世代の集まりなので、難しい中でも何ができるのかを考えていきたかった。ただ、いろんな考えの方がいらっしゃるので、参加される方もしない方も、気持ち良く納得して首を縦に振ってもらえる状態にするのが大変でしたね。普通の業界団体だったら、こんな時期にやるのはいかがなものかと言う方がいるものですが、倉青協は皆さん、それが妥当ですねといった感じで、とても協力的だったのがうれしかったです。

倉庫業のことをもっと広く若い人に知ってほしい

未来のことについてお伺いします。5年後に倉庫業がこうなっていたらいいなというのはありますか

野口　5年後かどうかはわかりませんが、業界をもっと一般の学生や若い人たちに認知してもらうための活動をしなければいけないと思っています。若い人はたぶん、倉庫会社に入社するなんて考えることもないし、倉庫業がどんな業界かも知らないのです。そのためには、若手の我々が積極的に情報を発信しなければいけないし、業界全体として、いいところはしっかりと守りながら、新しい取り組みなり、実のある活動をしていくことが必要です。

倉庫業は、社会のインフラとして至って重要な業界であり、これからも多分なくなることはありません。そのことをもっと知って欲しいですね。

それと、我々倉庫業者は作る側と買う側の間に立って仕事をしています。だから、両方の今の状況や課題もよく見える。それをきちんとキャッチすれば、新しいビジネスにつなげていくことが意外とできやすい業界だと思うんです。こうすればお客様にとって便利だなとか、納品先のお客様もこうやると簡潔化されるんじゃないかとか、お客様が喜ぶことが直にわかるので、それを一つ一つサービスにつなげて、コツコツやっていくことが大事だと思います。

その中で、倉青協としてはどんなことができると思われますか

野口　倉青協は、やはり全国ネットが一番の売りです。例えば、その地域でしか売れなかったような地方の商品を、全国で販売する物流もできます。海外展開も共同ですれば、海外の小さいお客様の商品でも我々のネットワークで全国に運ぶことができます。そんな風にいろいろなかたちものを届けられるネットワーク作りを、さらに深くしていけたらいいですね。

そうなるとやはり倉青協メンバー同士のコミュニケーションが大事ということですね

野口　そうですね。倉青協のメンバーは、本当にいつも一緒に泣き笑いしてきた仲間です。仕事で助けてもらったり、一緒に苦労したりしてきました。最近はコロナでなかなか会えませんが、お互い飲み尽くし、語り尽くした夜も数え切れません。昨日の日曜日も、何人かのメンバーがうちに遊びに来てくれました。倉青協は自分にとって、もうプライベートでも切り離すことのできない大切な存在なんです。

我々経営者は、まず自分が仕事を楽しくやることが大事です。それが自分の幸せになり、そうすると社員も幸せになって、家族や取引先もみんな幸せになる。そんな風に感じられるようになったのも、倉青協で皆さんに出会えたおかげです。倉青協には本当に感謝しています。

2019-2021

―スローガン―

物流業 変革と挑戦

物流業のイノベーション

会長所信

イノベーションとは英語の『innovate』のことで、『革新』『一新』などの意味を持つ言葉です。この言葉は動詞『innovate』の名詞形で、ラテン語の『リニューアル』という意味を持つ言葉に由来しております。
日本で使われる『イノベーション』には『革新』『一新』という意味のほかに『技術革新』『大きな変化』『新しい活用法』などの意味を持つこともあります。つまり、ただ単に新しくするのではなく、これまでの常識が変わるほど社会を大きく動かす技術革新や新たな概念を指す言葉ということです。
近年の物流業界は、先進的な物流施設の需要が高まっており、物流事業者や荷主企業の積極的な物流機能強化が行われております。また、物流供給面においても、店舗拡大や店舗運営の効率性を高める為に、商品保管機能や輸配送機能の高度化を進めてきております。
EC市場規模もここ数年で大幅な成長があり、インターネット利用者の増加や取扱い商材の増加、消費者のネット購入に対する安心感が定着しており、EC化率も拡大しております。
物流不動産開発においても商社及び外資系企業等の大手総合デベロッパーなどが参入して競争が激化しております。
それに伴い、賃貸物流施設の増加傾向にもあり、2000年頃から不動産開発会社または投資会社が保有し荷主企業や物流企業と契約する賃貸物流施設がファンドやリートの設立が増加しております。
我々、物流業界も近年激変する、物流業界を取り巻く環境に対応、対策を講じなければならないと思っております。
そんな、状況に対して、しっかりと対応、対策を倉青協会員みんなで、変革し挑戦していきたいとおもい、スローガンとして変革と挑戦　物流業のイノベーションという言葉を合言葉にして、直近4代の会長の下皆様で築き上げてきた体制を維持・発展させるべく、『親睦と勉強』の理念の下物流業界を発展させる人材の確保や育成、会員企業の革新を行って行きたいと思っております。
イノベーションを常に起こせる文化を根付かせるため、2年間邁進していく所存です。

■2019(令和1)年度　倉青協役員および各委員会構成

会　長		埼　玉	野口倉庫株式会社	代表取締役社長	野口英徳
副会長	広報	東　京	株式会社ウインローダー	代表取締役社長	髙嶋民仁
副会長	企業交流	宮　城	協和運輸倉庫株式会社	代表取締役社長	髙橋大輔
副会長	運営	福　岡	福岡倉庫株式会社	代表取締役社長	富永太郎
副会長	組織	東　京	日本流通倉庫株式会社	代表取締役社長	村田龍一
委員長	企業交流	東　京	三信倉庫株式会社	代表取締役社長	大竹英明
委員長	広報	神奈川	田辺倉庫株式会社	常務取締役	佐藤知也
委員長	運営	埼　玉	武蔵野物流株式会社	専務取締役	千代田智光
委員長	組織	兵　庫	森本倉庫株式会社	代表取締役社長	森本真弥

全体会・総会・事業の記録（2019年6月8日から2021年6月25日まで）

2019 令和元年（平成31年）

2019 6/21　国土交通省とのミーティング
東京（国土交通省）

2019 6/28　歴代倉青協会長と新執行部との意見交換
東京（芝パークホテル）

2019 7/19　全国産業資源循環連合会 青年部全国大会
高松（サンポ）

2019 9/6　一般社団法人 ドライバーズニューディールアソシエーションとの意見交換
東京（フィルポート）

2019 9/13　西日本ブロック懇親会
神戸（創作やきにく「カルビ越え」）

2019 10/24　第150回全体会（札幌）
札幌（京王プラザホテル札幌）

開会に先立ち、2019年8月19日にご逝去された新日本物流株式会社　松山恵美様のご冥福を祈り、全員で黙とうを捧げました。

2019 11/15　全ト協会青年部との意見交換・懇親会
東京（全日本トラック協会）

2019 12/6　近畿地区全産業連・トラ協勉強会・懇親会
大阪（大成閣）

2019 12/9　中部地区全産業連・トラ協勉強会・懇親会
岐阜（じゅう）

2020 1/29　常任幹事会
東京（芝パークホテル）

IT系営業倉庫マッチング会社に入会してもらうなど、倉青協のイノベーションを目指した。

●講演会
イネーブラー事業を中心としたビジネスモデルや倉庫業にかかわる取組み
商工中金 青木剛 様

物流領域における新しいビジネスモデル構築への挑戦と海外事例の紹介
株式会社SOUCO 中原久根人 様

2020 2/13　東日本ブロック懇親会
郡山（京香）

2020 2/21　第1回企業交流会
埼玉（川崎陸送坂戸流通センター）

2020 3/5　第151回全体会（京都）
京都（ハイアットリージェンシー京都）

コロナ禍でも活動を止めず、すべての地方大会を開催。倉青協の存在価値を内外に示した。

年齢別で分科会を開催し、特に新型コロナウイルス感染症の深刻化を想定して、マスクの確保や安定的な倉庫の運営方法を議論しました。

2020 6/12　第48回総会・第152回全体会
新型コロナウィルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令を受け、倉青協創設以来初の総会中止。総会議案については、書面による決議を実施

2020 9/10　ブロック会議
新型コロナウイルスの影響で開催中止

2020 令和2年

2020 10/1　第153回全体会（名古屋）
名古屋（ストリングスホテル名古屋）

徹底したソーシャルディスタンスの基に開催され、初の試みとして、リモート対応にも取組む。
非常時こそ、倉青協の活動を一歩前に進めるときと野口会長から発信され、想いのこもった全体会となりました。

ZOOM参加、会場設営の工夫（パーティション、抗原検査等）など、柔軟な運営で対応した。

2020 10/1　全ト協会青年部との意見交換会
Zoom会議／常任幹事会（大阪）

2021 1/28　常任幹事会・講演会
Zoom会議

2021 2/19　自民党青年局との意見交換会
Zoom会議

2021 3/5　自民党青年局定例会議
（東京）自民党本部

2021

2021 4/22　第154回全体会（福岡）
福岡（ヒルトン福岡シーホーク）

第154回福岡全体会では、コロナ禍で舵を取った野口会長にOBからメッセージが寄せられた。

株式会社キョーワ様（福岡県柳川市）にて、海苔の原料保管から製造の中間工程まで行うことで付加価値を高めている現場を見学。特別企画として、2年間の活動を振り返り、会長総括懇話会が開催されました。

2021 6/3　第2回企業交流会
新型コロナウイルスの影響で開催中止

2021 6/25　第49回総会・第155回全体会
東京（芝パークホテル）
2年の任期を終えた野口英徳会長（野口倉庫株式会社）から富永太郎新会長（福岡倉庫株式会社）へと引き継ぎが行われた。富永新会長は「変化　変化 変化！」という力強いスローガンのもと、委員長に若手メンバーを起用したフレッシュな体制で、次世代を見据えた活動を行っていきたいと語りました。

一般社会・物流の動き

2019

- 7月 ● 改正貨物自動車運送事業法の「荷主対策」の深度化が施行、荷主に安全配慮義務
- 8月 ● ゴルフの全英女子オープンで渋野日向子が海外メジャー制覇
- 9月 ● ラグビーW杯日本大会開幕、日本8強
- ● 台風15号が千葉市付近に上陸し、同市中央区で57.5メートルの最大瞬間風速を観測
- 10月 ● 消費税率が8％から10％に引き上げ

2020

- 4月 ● 「緊急事態宣言」により物流が停滞、物流従事者は「エッセンシャルワーカー」として注目
- 7月 ● 九州一帯を記録的な豪雨が襲い、多くの河川が氾濫して大規模な水害が発生
- ● 将棋の藤井聡太七段　最年少タイトル
- 9月 ● 安部首相退任に伴い、菅首相誕生・新内閣発足

2021

- 4月 ● ゴルフのマスターズトーナメントで松山英樹が海外メジャー制覇
- 6月 ● 「総合物流施策大綱（2021年度～2025年度）」が閣議決定

2021

変化　変化　変化！

2023

第24代会長（2021.6〜2023.6）

富永太郎 とみなが　たろう

福岡倉庫株式会社　代表取締役社長

1972年生まれ、福岡県出身。
1996年学習院大学法学部卒。
卒業と同時に福岡倉庫株式会社入社。
2002年代表取締役社長就任。2005年に倉青協入会。

2015年に倉青協スキー部に誘われ20年ぶりにスキーを再開。ボーゲンでしか滑れない状態で連れていかれた、猛吹雪の蔵王山頂での恐怖は、今でも忘れられません。その後、毎年家族とのスキー旅行が楽しみになりました。
週末は、キックボクシングで汗を流して、ストレス発散しています。

福岡倉庫株式会社
https://www.fukuokasoko.com/

Spotify　listen　YouTube
このインタビューの
ラジオはここから！

創業時から受け継がれる変革と挑戦の精神

現在の事業について簡単に聞かせてください

富永　当社は、倉庫部、陸運部、そして海外引越を主軸とした梱包輸送部という3つの事業部で営業展開しています。福岡県内に7か所の営業倉庫を保有し、多種多様な業界のお客様の商品を取り扱っていることが、当社の特徴であり強みです。具体的には、政府米、精密機械、建材、食品、また危険品もしくは劇毒物と呼ばれるものまでお預かりしています。
業界への貢献という意味では、日本で初めて冷凍車を作ったのが、当社の創業者である祖母の富永シヅです。戦後、日本に来た米軍の食料品などの輸配送の打診を受け、冷凍車の開発に成功したのが昭和30年代になります。同じ時期に福岡市内の米軍基地が返還され、多くの米軍関係者の引越しを請け負ったことでノウハウを蓄積し、それが今日の海外引越につながっています。

お祖母様はどのようにして、倉庫業を始められたのですか

富永　富永家のもともとの家業は、漁師の網元でした。業績は順調でしたが、東シナ海での漁業は隣国との政治的な問題に巻き込まれることもあり、陸上での仕事を模索したそうです。若くして他界した祖父の後を継いだ祖母が銀行に相談に行って、倉庫業というビジネスがあることを教わったそうです。初めて倉庫を作ったのが昭和23年10月18日で、この日が福岡倉庫の創業の日となっています。ある意味ベンチャー企業的に倉庫業を始めたということで、わが祖母ながら素晴らしい挑戦であったなと思います。
僕は直接、祖母と仕事をする機会はなかったのですが、小さい頃からいつも「本当にいい会社なんだよ、世の中に必要な仕事なんだよ」と言うのを聞いていました。その祖母の精神が、この会社に染み付いていると常々感じます。冷凍車を日本で初めて開発する時も、社内的には大反対だったのを祖母が押し返した。その強い信念の大もとは、まさに「社会の役に立つ」という彼女の経営理念だったのだろうと思います。

この会社で働くという意識はいつ頃からお持ちでしたか

富永　父は僕が小学校2年生の時に他界したので、社業について教えてもらう機会は正直あまりありませんでした。ただ、なんとなく跡取りなんだろうという気持ちはあって、卒業前に当時の社長と話をしたら、すぐにでも入社してほしいと言われ、大学を出て自分の会社に入りました。
入社した時点では取締役で、社長になったのは29歳の時です。やっぱり「こんな若い三代目で大丈夫なのか」と思った社員もたくさんいたと思います。そういう社員に新社長として自分の思いを何とか伝えたいと、初めの3日間社長室にこもって、7か条の経営方針を作りました。社長になって今年でちょうど20年経ちますが、今見てもこの気持ちでちゃんと経営してきたつもりだし、今後もこの方針で経営したいと自分でも思える内容です。
中でも僕がとくに大事にしているのが、「社員の努力に利益還元を行い、活気と誇りの溢れる会社にする」という1か条です。ご縁があって福岡倉庫に入社してくれた社員が、物流という仕事を大事に思い、福岡倉庫で働くことに誇りを持って、会社を良くするため、お客様に良いサービスを提供するためにいろんなアイデアを出してくれる、そんな活気あふれる会社にしていきたいとずっと思っています。

信頼できる同業の仲間ができるのは倉青協だからこそ

倉青協にはどんな経緯で入会されたのでしょうか

富永　2003年3月に福岡で全体会が行われるということで、地元の博運社の真鍋さんから、「ちょっと手伝ってよ」と声をかけていただいたのがきっかけです。当時、僕は青年会議所をやっていて、2004年秋に福岡で世界会議が開催されるため非常に忙しく、入会したのはそれが終わって2005年2月、樋口会長の時でした。なんか元気なおじさんたちが一杯いるなという印象でしたが、入会してまだ全然知り合いのいないタイミングで楽しいなと思わせていただいたのは、やっぱり先輩方のしつらえの上手さなんだと思います。

この会に入ってよかったと思うエピソードはありますか

富永　物流業界の中でも、倉庫業者はどちらかというと荷主に近い立場で、中間管理職的な板挟みにあうのです。お客様からはいろいろ厳しい要望が来るし、協力会社や運送会社からは「そんなことできません」と言われる。そんな中で、自社の立ち振る舞いをどうするべきなのか、いろいろケーススタディとして教えていただきました。
また、倉庫を建てるというのは非常に大きな投資ですが、10年前に自社で建てた倉庫の知識ではあまり参考になりません。そういう時、この会では直近で倉庫を建てた仲間たちが、その知見を惜しげもなく教えてくれるのです。建物の使いやすさなど最新の情報を得るには、新しい建物を見るのが一番合理的なわけで、信頼できる同業の仲間に出会えたことは、倉青協に最も感謝すべきポイントだと思っています。
それから、経営者の集まりということでは、事業承継についても皆さんいろいろな形で苦労されています。正解はないにしても、こういう場合に、こういうことが起こり得るんだという話を、親しいからこそ胸襟を開いて話していただけるのもありがたいことです。

激動の時代を生きる経営者として、変化を恐れず前へ進む

スローガンの「変化　変化　変化！」は、どういう流れで考えられたのですか

富永　僕らの世代の経営者って、100年、1000年に一度と言われるような難しい局面に、この10年ぐらいで立て続けに接してきたと思うのです。今まさにコロナ禍の真っ最中であり、2011年には東日本大震災がありました。2008年にはリーマンショックもあった。こうした変化の激しい時代において、倉庫会社だからといってのほほんとしてはいられません。しっかり会社を発展させていくためには、やっぱり自分たちも変化していかなければいけない。
例えばDX化の推進とか、人手不足の問題とか、我々が今取り組まなければいけないテーマは、すでに明確に出てきているんです。それらに対して、少しずつでも何か対応していくべき時に、もしその方法がわからないのだったら、先進的に取り組んでいる仲間や先輩のところへ見に行けばいい。それが倉青協の精神だと思います。自社で何かすごく新しいものを開発できなくても、まずは先輩とか仲間に教わり真似をすれば、それが十分その会社にとっては変化になるのではないか。そういう気持ちで、このスローガンを作りました。

倉青協を通してお互いに変化していこうということですね。逆に倉青協でこれだけは守りたいというものはありますか

富永　長年にわたり、ずっと倉青協が大事にしているキーワードが「親睦と勉強」です。楽しい面があるからこそ人が集まってきて、お互い同じ悩みを抱えているんだと感じることによって強い結束が生まれます。とはいえ平日の昼間に会社を空けて、単に遊び行くだけでは、組織運営として必ず行き詰ると思います。しっかりと親睦をして仲間を作るということと、倉青協の活動が学びになり、実務的にも価値があるという両面が、今後も我々の組織にとっては最も重要ではないかと思います。

50周年の節目にあたり、倉青協の未来への思いを教えてください

富永　今言ったように、倉青協の活動の核の部分は親睦と勉強であり、結果的に会員企業が繁栄し、発展していくことが重要です。逆に言うとそれ以外の部分は、どんどん変わっていっていいのではないでしょうか。
今の20代30代の会員は、デジタルネイティブと呼ばれる新しい世代になってくるわけで、彼らの中からまた新しいビジネスなり、新しい倉青協のあり方が生まれて来てほしいと思います。10年、20年ぶりに倉青協に来た時、「なんだ、昔と何も変わっていないね」というのでは面白くない。根っこの部分はしっかり保ちつつ、あとは僕らの頃とは全然違うなとびっくりするくらいに、どんどん変わっていってほしいですね。

2021-2023

―スローガン―

変化 変化 変化！

会長所信

設立より50年が経とうとする倉青協において、一貫して「親睦と勉強」という理念を掲げていることは、この協会の真髄を表現した言葉だからと確信し、今後2年間においても掲げていきます。
新型コロナウイルスは社会生活を急激に変化させました。幸いなことに、この環境下でも倉庫業の社会的意義は揺らぐことなく、業務継続を求められています。今後、ワクチン接種の進捗等で状況は少しずつ改善していくでしょうが、環境の変化に対応するべく、会員各社も大きな変化を求められます。
多くの課題は既知のものです。例えば、物流DXへの対応、事業承継、少子化の中での労働力確保等。あとは、経営者としてそのテーマにどう取り組むのかです。自社で不断の努力が必要なことは言うまでもありませんが、倉青協の仲間や先輩方の取り組みに大きなヒントがあり、それを知る機会は目の前にあります。同時に、協会活動の方法論も変化をしていかなければなりません。
150名の倉庫企業経営者を抱える団体として、楽しく切磋琢磨しながら、会員の役に立つ活動を行っていきます。

■2021（令和3）年度　倉青協役員および各委員会構成

会　長		福　岡	福岡倉庫株式会社	代表取締役社長	富永 太郎
副会長	企業交流	神奈川	田辺倉庫株式会社	常務取締役	佐藤知也
副会長	広報	埼　玉	小山企業株式会社	代表取締役	小山嘉一郎
副会長	運営	埼　玉	武蔵野物流株式会社	専務取締役	千代田智光
副会長	組織	兵　庫	森本倉庫株式会社	代表取締役社長	森本真弥
委員長	運営	熊　本	岱明運輸株式会社	代表取締役	福田　洋
委員長	広報	滋　賀	淺野運輸倉庫株式会社	専務取締役	淺野順一
委員長	企業交流	大　阪	丸二倉庫株式会社	取締役社長室室長	湯川茂樹
委員長	会員交流	愛　知	福玉精穀倉庫株式会社	専務取締役	社本崇志

全体会・総会・事業の記録（2021年6月26日から2023年6月9日まで）

2021

2021 10/21　第156回全体会（横浜）
横浜（ホテルニューグランド）

田辺倉庫様の事業紹介や元町ショッピングストリート／サン・インテルネット株式会社の共同配送事業の見学。押入れ産業の事業紹介など充実したプログラムで、久しぶりに顔を合わせた会員同士が親交を深め合いました。

2021 11/17　会員交流会京滋地区懇親会
京都（八坂通り）

2022

2022 1/19　常任幹事会
東京（芝パークホテル）

倉青協50周年記念式典に向けて、式典の内容や記念誌の制作などについて活発な意見交換がなされました。
●講演会
日本復活への道筋とは―正しい財政観を獲得しよう―
一般社団法人全日本建設技術協会　大石久和様

2022 3/24　自民党青年局意見交換会
東京（自由民主党本部）

2022 4/21　第157回全体会（神戸）
神戸（ホテルオークラ神戸）

「災害とその対応」をテーマにした今大会では、「人と防災未来センター」への見学会や、震災を経験した会員・OBが語る災害への取り組み事例の発表を行いました。

2022 5/19　東日本ブロック懇親会
愛知（福玉精穀倉庫）
倉庫見学と物流効率化法についての意見交換

2022 6/2　第50回総会・第158回全体会
東京（芝パークホテル）

富永会長体制になって1年、コロナ禍の影響により全体会の日程変更などイレギュラーな対応をせざるをえない部分もあったが、歩みを止めることなく着実に活動を続けてきたことが共有されました。
災害と女性2022／認定NPO法人 ウィメンズネット・こうべ　正井禮子様

2022 7/8　令和4年度第1回企業交流会
北海道（共通運送株式会社（Fk第6センター））
各社のSDGs取組状況についての意見交換会

2022 10/13-14　第159回全体会（熊本）
熊本（ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）

熊本地震後を共有するすることで、どのように変化してきたのかを学びました。講演会にはくまモンもサプライズ登場。また、翌日には熊本復興応援観光を実施しました。
JR九州の成長と進化／九州旅客鉄道株式会社 中野幹子様

2023

2023 1/19　常任幹事会
東京（芝パークホテル）
経営とBCP及び事業継続力強化計画／SOMPOリスクマネジメント株式会社

2023 2/8　自民党青年局定例会議
東京（自民党本部）
（冷蔵倉庫業青年経営者協議会との合同）

2023 2/9-10　企業交流委員会企業見学（和歌山）
和歌山（トーヨーカネツ和歌山工場、アドベンチャーワールド）

2023 2/22　国土交通省との意見交換会
東京（日本倉庫協会）

2023 3/2　第160回全体会（埼玉）
埼玉（川越プリンスホテル）
首都圏外郭放水路（春日部市）の見学会が行われました。
埼玉県のゆるキャラ、コバトンとさいたまっちも応援に駆けつけ、富永会長体制最後の地方大会は、埼玉メンバーの入念な準備により盛況な会となりました。

2023 3/18　50周年記念事業
三重（高倉神社）

2023 4/28　会員交流委員会
兵庫（寺本運輸倉庫）

2023 6/9　第51回総会・第161回全体会・50周年記念式典
東京（芝パークホテル、ザ・プリンスパークタワー東京）

一般社会・物流の動き

2021

- 7月 ● 静岡県熱海市で大規模な土石流が発生
- ● 1年延期を経て、夏季東京五輪が無観客で開催
- 10月 ● 経産省がフィジカルインターネット実現会議をスタート
- 11月 ● 米大リーグの今季最優秀選手（MVP）が発表され、投打の「二刀流」で歴史的な活躍を見せたエンゼルスの大谷翔平が初受賞

2022

- 2月 ● ロシアによるウクライナ侵略
- ● 中国の北京で冬季五輪開催
- 7月 ● 安倍元首相、背後から銃撃され死亡
- 9月 ● イギリスのエリザベス女王が死去
- 10月 ● 韓国ソウルの梨泰院イテウォンで、雑踏事故が発生し、日本人留学生2人を含む158人が死亡
- 12月 ● 物流分野のドローン活用へ有人地帯（第三者上空）における補助者なし目視外飛行である「レベル4飛行」が解禁

2023

- 2月 ● トルコ・シリアでマグニチュード7.8と7.6と2回の地震が発生し、両国の死者数は52,000人以上
- 3月 ● WBCにて日本が優勝
- 4月 ● 大規模庇に係る建築基準法施行令が見直され、一定の要件を満たす倉庫等庇の建ぺい率制限を合理化

未来へのバトン

Letter to the future

東日本大震災　見えた本物の「きずな」

2011年東日本大震災の発災直後、被災した会員を支援するため緊急支援物資の供給、義援金の募集、倉庫の復旧のためのボランティア活動を行いました。その原動力は、倉青協が培ってきた「本物のきずな」でありました。発災から12年、50周年を迎えるにあたり、発災の2年後にさらなる復興を願って行った植樹を経て、今日までの復旧、復興、倉青協への想いを語っていただきました。

2011年3月11日金曜日東日本大震災が起きた。3月10日、11日と下関に於いて倉青協山口全体会がまさに開催されていた。観光、ゴルフもまだ途中の段階での震災発生に、その日に地元まで帰れないメンバーが大勢出た。そうした状況の中、その週末ただちに当時の会長だった浅野さんが支援に向けて動き出した。震災発生の翌日には被災状況・安否の確認がメール、facebookではじまった。そして最初に行われたのが物的支援である。14日から緊急支援物資を募りはじめ、トラックを手配し、関西からは16日に日本海経由で、関東からは17日に太平洋経由で、東北のメンバーに物資が運ばれた。何が不足しているのかを事前に情報収集し、どこよりも早く、必要な物資を届けることができた。そして次に行われたのが人的支援である。地震で崩れ落ちた貨物の積み替え作業が4月からはじまった。1か月にわたり総勢241名がボランティア活動を行った。そして6月私が会長になり、福島の山口さんから、福島は原発の放射能問題でこれからどうなるか分からないという声を聞く。当初我々は津波の被害に目を奪われていたが、原発の問題は福島に大きな影を落としていた。そこで福島に向けての人的支援を8月頭に行った。当時、放射能がどう影響するのか分からない中、ガイガーカウンター（放射能計測器）を横に置きながら作業に取り組んだ。行くことに反対をする声もある中、我々が行くことで、社会から見放されていたという思いから、救われた気持ちになったという会員の方もいて、支援が間違っていなかったことを感じた。

2年間の会長時代、「災害から学び、災害に備え、被災したみなさんに寄り添う」というテーマで、1年目の3月に神戸で、2年目の3月に仙台で全体会を行い、被災した現場や記念館を訪問して勉強させていただいた。そして震災から丸2年を経過した5月、被災した宮城、福島、岩手の会員10社の倉庫に、桜の木を植樹させていただいた。毎年桜の季節を迎える度に植樹した桜はどうなっているかなと想いを馳せている。日本という国に会社を構えている以上、いつ自分たちに地震が起こるかは分からない。その時に備え、きちんとした準備をし、もし震災が発生したら、いち早く倉庫を復旧させ、支援物資を受け入れ、避難場所へ配布する。そしてその時に全国にいる仲間がサポートしてくれたらそれに勝る力はない。今後日本のどこかで震災が起こったら、倉青協のメンバーで支え合う、そんな倉青協であり続けて欲しい。

倉青協よ、永遠たれ！

醍醐倉庫株式会社 代表取締役
（第19代会長）醍醐 正明

東日本大震災から12年が経ちました。道路整備や,建物整備は整ってきておりますが、原発事故被害区域は、帰還困難地域もありまだまだ復興には時間がかかる状況です。震災直後より、敷地内の地盤沈下や建物被害の復旧を早急に進めながら、物流をとめることなく業務に奮闘する日々を送ることとなりました。地震のほか原発事故に大きな不安を抱きながらも頑張ってくれた社員に感謝です。

震災後、倉青協に入会させていただき、皆様から温かい激励と、ご支援ご協力を頂いた事に感謝しております。2013年5月28日（火）には、醍醐会長（当時）、馬場社長に、植樹式をして頂きました。樹木の成長を見るたび倉青協の皆さんの想いに自身を奮い立たせるとともに、人とのご縁を大事にし、更なる成長を目指そうと心に誓っております。

株式会社マルコ物流 代表取締役社長
遠藤 吉次

早いものであの東日本大震災から12年が経過しようとしています。当社も大津波によって八戸、仙台の事業所が水没し、内陸部の倉庫群についても強震により大きなダメージを受けました。多大な損害を受けましたが落ち込むことなく、これを糧として前よりもよい企業を創り上げてやる、その一心で復興に邁進してまいりました。そうした中、倉青協の皆様から復興支援のシンボルとして枝垂桜をいただき、決して一人ではないと感動した次第です。おかげさまであれから10年が経過し、まだまだ理想には遠いですが、それに向かって順調に歩んでおります。現在コロナ禍という「イベント」が継続していますが、そうした災禍は今後も我々の周りに起こりえるかもしれません。そうした中でも会員皆様方の応援がある限り負けることはないでしょう。改めて本当にありがとうございました。

東磐運送株式会社
代表取締役社長
菅原 良徳

倉青協50周年の節目を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。東日本大震災後に醍醐会長にご来社いただき植樹した日のことが昨日のことのように思い出されます。大震災から12年、特に福島県は原子力災害の影響を色濃く残したまま、あっという間に12年が過ぎました。

須賀川東部運送は令和5年度におかげさまで会社設立50年を迎えます。倉庫も2棟新築することができ、社員も若手を中心に成長することができました。皆さんからいただいた、多くのご支援とご声援、そして励ましのお言葉により令和5年の今を迎えることができています。倉青協の今後益々のご発展を祈念いたします！！

株式会社須賀川東部運送
代表取締役
吉田 雅弘

未来へのバトン

植樹から10年 成長の足跡

～歴代会長による東北訪問～

東日本大震災発災時に陣頭指揮を執られた第18代淺野会長はじめ、第19代醍醐会長、第20代曽根会長、第21代太宰会長、第22代池田会長、第23代野口会長、第24代富永会長の歴代7会長が東北の会員各社を訪問し、植樹した苗木の成長と、震災当日から現在までの復興の歩みを視察しました

その中で、「震災直後の倉青協支援が物心ともに支えであった。」、「苗木の成長と、復興の歩みが重なる。」などの声が聞かれ、この10年の歩みを見続けてくれた苗木の成長に目を細めるとともに、倉青協の「きずな」を再確認することができました。

東日本大震災で被災し、会社も福島も終わってしまうのか？
そんな喪失感の中、醍醐会長より「倉青協で何かお手伝い出来る事ありませんか？」と声を掛けて頂きました。私は「お気持ちだけで大丈夫です」と言ってお断りしました。なぜなら余震による2次被害、更には、福島原発事故による放射能の危険性もあり、危険な場所に来て頂く訳にはいかないと考えたからです。それでも醍醐会長より、親身に人的応援のお話しをいただけたことで、お願いをするに至りました。
多くの県民が県外へ避難し、ゴーストタウン化した福島にある当社へ、倉青協の皆様が復旧応援に来て頂いた光景は、社員にどれだけの希望と勇気を頂いたことか計り知れません。出て行く人だけでなく、来てくれる人もいる。ここで復旧復興し、営業し続けることが恩返しになると感じ、新たな目標が出来ました。
2年後、同じ場所に醍醐会長が復興祈願で「こぶしの木」を植樹しにご来社されたときの笑顔と、嬉し涙での社員との再会に、倉青協は家族であると認識しました。倉青協なくして当社なし。皆様に感謝申し上げます。当社はおかげさまで、植樹頂いたこぶしの木と共に福島で夢に向かって成長を続けております。

東日本倉庫株式会社 代表取締役社長
馬場 俊彰

福島県（2社）
アテンド：山口様、馬場様

01 2023.4.12
東日本倉庫株式会社 須賀川営業所
既に桜は散った後でしたが、大きな樹木となっていることに月日の経過の早さを実感するものとなりました。

02 2023.4.12
山口倉庫株式会社 本社
少し桜も残っている中、未来の倉青協入会予定者とも御挨拶をさせていただきました。

倉庫業青年経営者協議会設立50周年、並びに記念事業の盛大なるご開催を心よりお慶び申し上げます。
さて、東日本大震災から早くも12年が過ぎました。発災時、空調設備損傷、天井材落下などを経験いたしましたが、幸いにも関係各位のご協力で早期復旧に恵まれ、震災に苦しまれる同業他社様、近隣企業様、地元農家様など自社以外にも支援の輪を広げて参りました。2012年からは8年に渡り、福島第一原発の爆発事故に端を発する県産米全量全袋検査に携わり、約1万8350トンもの放射能検査を行い、福島県産米信用信頼の礎を築く一助として職務に邁進いたしました。会員皆様から復興祈願として植樹されたエドヒガンは幾多の困難な時期を乗り越え、寒い福島の地でしっかりと根を張り、開花するその日を心待ちにしております。

山口倉庫株式会社 代表取締役
山口 広志

強い揺れと津波により、沿岸部を中心に甚大な被害が発生した光景は今でも脳裏に焼き付いています。弊社は宮城県内陸部のため建物への津波被害はなかったものの、倉庫天井の落下や間仕切り破損などが発生。沿岸部走行中の車両が津波に流され、数日後数百メートル先で発見されるなど、津波の脅威をまざまざと見せつけられました。そんな中でも、人的被害がなかったことが不幸中の幸いでした。交通網はほぼ寸断され、緊急物資もなかなか届かない状況でしたが、皆様方からのたくさんのご支援のもと、弊社は1ヶ月程度で復旧が完了し復興へ歩み始めました。当時の醍醐会長を筆頭に皆様から「気持ちの込もった植樹」までいただき、とても感謝しております。
今回の経験を糧に、そして皆様からの想いを受け継ぎ、今後は皆様への恩返しができるよう貢献してまいります。

株式会社大昇物流 代表取締役社長
和野 裕一

05 2023.4.13
志波彦神社・鹽竈神社
倉庫業青年経営者協議会として、鹽竈神社で御祈祷

06 2023.4.13
株式会社大昇物流 石田物流センター
倉青協入会前に植樹が決まったというエピソードや樹木の育て方についてお話しを伺いました。

宮城県（4社）
アテンド：太宰様

03 2023.4.13
白石倉庫株式会社 白石TTC
震災時東北メンバーのリーダー役を務められた太宰歴代会長。立派に成長した樹木の前で社員の皆様と一緒に笑顔で記念撮影！

再び、兎年となり、あの震災から、丁度、干支が一廻りしました。震災直後の復旧作業、原発被害の克服、損壊施設の再建、やっとの思いでの日常の回復、台風19号、令和3年・4年の福島沖地震での再びの被災、正直な話、12年間、心休まることは稀でした。そんな逆境の中、今日があるのも、倉青協の仲間のお陰だと心から感謝しています。全国の仲間からの物的、そして人的な復旧作業支援、あの支援が無かったら、当社の今はありません。全国から集まった皆さんの励ましと優しい笑顔に助けられました。
エドヒガンザクラを植樹して頂いた時、「10年後、世の中はどうなっているかな～。ちゃんと、復興出来ているかな～。」と思いを馳せた事を覚えています。コロナ、原油高騰、宇露戦争、電力高騰、現在、全く違う経営環境の中でも、あの時と同じように「その先に道は拓ける。」という精神力が備わった気がしています。その精神力を授けてくれた倉青協の仲間に感謝し、エドヒガンザクラとともに成長していきたいと思っております。

十二支の　見目麗しき　エドヒガン　親しき友の　想い不忘ず
（じゅうにしの　みめうるわしき　えどひがん　したしきともの　おもいわすれず）

株式会社白石倉庫 代表取締役社長
（第21代会長）太宰 榮一

04 2023.4.13
センコン物流株式会社 RM第2センター
機密文書を取扱っている拠点であることから、細心の注意を払いつつ、樹木の成長を確認させていただきました。

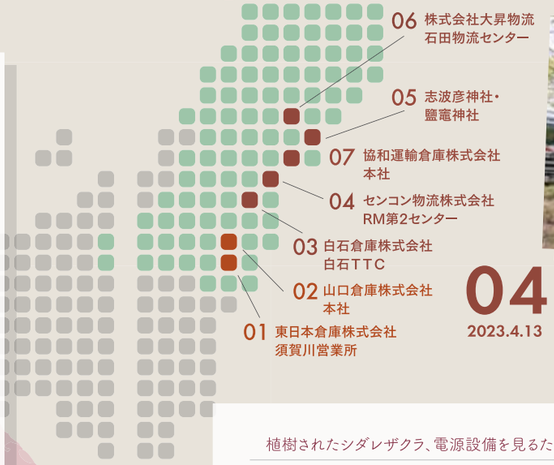
■復旧
震災4日目には、前山先輩（前山倉庫）からのアドバイスにより「緊急車輌通行許可証」を取得した事で、運輸事業を再開することができました。また、浅野先輩（浅野運輸倉庫）の掛け声のもと倉青協からの食糧支援や総勢100名を超える荷崩れ復旧作業支援のおかげで、被災した倉庫の業務再開についても4月の段階でほぼ目途をつけることができました。
■復興
黒川先輩（東邦運輸倉庫）のリーダーシップにより、災害支援物資の保管を行った事で被災した倉庫で保管業を行う事ができ、更に、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業にもお声がけを頂いた事で、修繕にかかる費用を補助金で補え、資金的なダメージを極小化できました。先輩には一生頭があがりません。

センコン物流株式会社 代表取締役社長
久保田 賢二

植樹されたシダレザクラ、電源設備を見るたびに色々な事を思い出します。震災当日、仙台へ戻るための最短ルートを確保してくれた野口さん、千代田さん、滋賀、愛知、富山の3カ所から電源部品を集荷し、燃料、救援物資ものせて最短日数で仙台まで輸送してきてくれた谷川さん、一人で応援に駆けつけてくれた押田さん、当時会長の浅野さんをはじめとする会員の皆様、倉青協ネットワークのおかげで今があります。たくさんの励ましの言葉やアドバイスを常にいただいたことにより、上を向いて前に一歩ずつ進み続けることができました。震災から12年、倉庫の修繕から倉庫の新設、新規業務、営業所の開設も行うことができました。これからも宮城、東北の物流を支えるために絆を大切にし、全社員と共に歩み続けます。

協和運輸倉庫株式会社 代表取締役社長
髙橋 大輔

07 2023.4.13
協和運輸倉庫株式会社　本社
発災当時のとても大変だった状況や、会員の谷川運輸倉庫・谷川さんはじめ、倉青協の支援に勇気づけられたというエピソードが紹介され、胸を打たれました。



苗木を植えれば花が咲くというわけではありません。木が育ち、花が咲くにはたくさんの手間がかかります。
エドヒガンは長寿で、樹齢が1000年を超えるものもあり、長寿な分、花が咲くまでに時間を要し、植樹から10年の今年はじめて花をつけたところもあるそうです。
会員企業の復興の歩みにそれぞれストーリーがあることと同様に、それぞれの木にもストーリーがあることを感じた訪問となりました。

倉青協の歴史と未来をつなぐシンボル

未来へのバトン

高倉神社（三重）

東日本大震災の2年後、2013年に東北の会員各社にシダレザクラ、コブシ、エドヒガンの苗木を植樹してから10年が経過しました。

新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、今まで以上に先行きが不透明で、未来が見通しにくい中ですが、倉青協は50周年を迎え、半世紀を超える活動を続けることができました。

次の10年はもちろんのこと、100周年に向けて、未来を共に歩むための想いを込めたシンボルを作りたいと考え、倉庫の神様として名高い高倉神社に、記念碑の建立と、桜の木の植樹を行いました。

2023年3月18日（土）、富永会長をはじめ約20人の会員で三重県伊勢市の高倉神社へ、御祈祷並びに記念碑の建立、桜の木の植樹に伺いました。

前日（3月17日）、当日（3月18日）ともに天気予報は生憎の雨模様でしたが、現地に近づくにつれて倉青協の50周年を祝福するかのように雨も止み、傘もささずに全ての行事を挙行することができました。

高倉神社の本殿へと繋がるとても日当たりのよい場所に奉納された記念碑と桜の木は、これからの倉青協と会員各社の発展と繁栄を見守るシンボルとして、未来への歴史を刻み始めました。

数年後、未来と正面から向き合い、互いに成長した姿で、この地に再度集まることを約束しました。

倉庫業青年経営者協議会 結成50周年によせて

新居さまご夫妻

高倉神社 宮司
新居 一城 さま

この度は、倉庫業青年経営者協議会結成50周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

全国の青年経営者様が倉庫業の未来の為に立ち上がり、【勉強と親睦】という指針の下、並々ならぬご努力のおかげをもって今日を迎えられたことと存じます。誠におめでとうございます。

さて、高倉神社の御祭神・高（たか）倉（くら）下（じ）命（のみこと）は「倉庫の神」として全国から御崇敬をいただいておりますが、それは高倉下命が『倉庫業』で御活躍されたことに由来します。

日本最古の史書である古事記によると、神（かむ）倭（やまと）伊（い）波（は）礼（れ）毘（び）古（こ）命（のみこと）（後の神武天皇）御一行が熊野の地で大きな困難に遭われます。その時、建（たけ）御（み）雷（かづち）神（のかみ）よりお預かりした神剣を自分の倉から献上し、多大な功績を残されました。まさに『倉庫業』を先駆けた神様が高倉下命でございます。また、この現代におきましても、稲などの日常生活に欠かせない物を保管する場所が「倉（庫）」であり、我々にとって無くてはならない場所です。このような歴史の深い『倉庫業』も、取り巻く環境が大きく変化していると思いますが、先人から受け継いだ伝統や教えを守り、皆様の御尽力によって、今後の倉庫業界の行く先が明るく導かれるものと信じております。

未筆ながら、倉庫業青年経営者協議会の一層のご発展と、皆様方の益々のご活躍を御祈念申し上げます。

倉庫の神様・高倉下を祀る
歴史ある神社

国指定
重要文化財 **高倉神社**

〒518-0025
三重県伊賀市西高倉1050-2

Access

●JR、伊賀鉄道「伊賀上野駅」から車で約10分
●伊賀鉄道「上野市駅」から三重交通バス「42系統　西山・島ヶ原線」利用、「鳥居出バス停」下車徒歩約６分。※ 日祝日運休

●名阪国道「上野IC」、「大内IC」から車で約10分
●駐車場あり

See it visually

ビジュアルで見る倉青協2023 東日本エリア

全国各地の営業倉庫免許を所有する会社幹部が会員となります。
ビジュアルや数字から見た倉青協をご紹介します。

会員数

122人

（2023年4月1日現在）

北海道エリア

小樽倉庫株式会社
藤山倉庫株式会社
株式会社トッキュウ

東北エリア

青森　三八五流通株式会社
秋田　秋印株式会社
岩手　一関糧運株式会社
宮城　株式会社白石倉庫
宮城　センコン物流株式会社
宮城　協和運輸倉庫株式会社
宮城　株式会社大昇物流
宮城　東邦運輸倉庫株式会社
宮城　蜂谷運輸倉庫株式会社
宮城　株式会社丸山運送
福島　山口倉庫株式会社
福島　東日本倉庫株式会社
福島　株式会社須賀川東部運送
福島　桑折商事倉庫株式会社

男女比率

49:1

97.7%（118名）:2.3%（4名）
圧倒的に男性が多い状況となります。今後は女性会員が入会しやすいよう、取組んでいきたいです。

東日本倉庫株式会社（福島）

タイムカプセル

昔は卒業式で学生さんが将来の自分宛に手紙を書いて校庭に埋める話がありました。しかし、現代では、東日本倉庫に預けて、学生さんが成人式を迎えた際にタイムカプセルを倉庫から出庫し配送するサービスをしております。
定温定湿管理の倉庫で、大事な思い出の品を風化させないよう大切に保管させて頂いております。
子供たちの青春の思い出に東日本倉庫が関わることが出来て、嬉しく思っております。

会員の営業倉庫の種類

79.3%

普通倉庫　79.3%
冷蔵倉庫　8.5%
危険物倉庫　12.2%

最も多いのは普通倉庫で79.3%でした。

泰清倉庫株式会社（埼玉）

ピザ窯

想像以上の重さで、フォークリフトを2台使用して、保管場所まで移動したそうです。

会員所在県

33/47

70.2%（33／47）
現在14県が不在の状況となります。（2023年4月1日現在）会員が不在の県は、山形県、群馬県、千葉県、長野県、新潟県、三重県、和歌山県、岡山県、鳥取県、徳島県、高知県、大分県、宮崎県、鹿児島県となります。
47都道府県の拠点を目指してまいります。

株式会社出版産業（埼玉）

製本

出版の流通から書籍改装まで一括管理。
また、新しいカバーへの交換、付録などのセット梱包を行ったり、新出版ネットワーク（出版VAN）、S-BOOK、出版社共同ネットにも対応しています。

共進倉庫株式会社（東京）

映画のマスターフィルム

知らない人がいないであろうほどの様々な国民的アニメのフィルム、原画を保管！

関東エリア

栃木　大坂屋運送株式会社
栃木　株式会社日本引越センター
埼玉　北関東陸運株式会社
埼玉　柴崎倉庫株式会社
埼玉　野口倉庫株式会社
埼玉　ミナモト倉庫株式会社
埼玉　小山企業株式会社
埼玉　大沢運送株式会社
埼玉　株式会社出版産業
埼玉　株式会社富吉
埼玉　武蔵野物流株式会社
埼玉　泰清倉庫株式会社
埼玉　京葉流通倉庫株式会社
埼玉　八潮運輸株式会社
埼玉　株式会社ゲートオンロジスティクス
東京　富士港運株式会社
東京　株式会社souco
東京　王子倉庫株式会社
東京　丸善株式会社
東京　高取ロジスティクス株式会社
東京　東京倉庫運輸株式会社
東京　三信倉庫株式会社
東京　愛宕倉庫株式会社
東京　日本流通倉庫株式会社
東京　株式会社ウインローダー
東京　佐志田倉庫株式会社
東京　結城運輸倉庫株式会社
東京　株式会社ライフサポート・エガワ
東京　東海海運株式会社
東京　斉藤倉庫株式会社
東京　中央株式会社
東京　株式会社明正
東京　共進倉庫株式会社
東京　横浜倉庫株式会社
東京　伊澤株式会社
東京　株式会社泰運商会
東京　中野倉庫運輸株式会社
東京　第一倉庫株式会社

See it visually

ビジュアルで見る倉青協2023 西日本エリア

平均年齢

44歳

50才以下の倉庫業若手経営者団体である倉青協。
現在の平均年齢は44歳です。(2023年4月1日現在)

関西エリア

滋賀　浅野運輸倉庫株式会社	大阪　丸二倉庫株式会社
京都　株式会社東洋倉庫	大阪　鳥居運送株式会社
京都　宝梱包株式会社	大阪　南花田共同倉庫株式会社
奈良　株式会社アサヒ倉庫	大阪　株式会社松菱
大阪　シンク株式会社	兵庫　寺本運輸倉庫株式会社
大阪　藤浪倉庫株式会社	兵庫　株式会社中川工業所
大阪　株式会社西尾倉庫	兵庫　神澤通商株式会社
大阪　株式会社日本ロジックス	兵庫　森本倉庫株式会社
大阪　谷川運輸倉庫株式会社	兵庫　株式会社西宮高速運輸
大阪　株式会社リクサス	兵庫　ワールドライン株式会社

中国・四国エリア

広島　丸加海陸運輸株式会社
広島　不二倉庫運輸株式会社
広島　株式会社ロジコムホールディングス
広島　麒麟倉庫株式会社
山口　防府通運株式会社
香川　讃州倉庫株式会社
愛媛　浜栄港運株式会社

九州・沖縄エリア

福岡　福岡倉庫株式会社
福岡　山田港運倉庫株式会社
福岡　西久大運輸倉庫株式会社
福岡　東亜倉庫株式会社
福岡　株式会社AXions
佐賀　松浦通運株式会社
長崎　後藤運輸株式会社
熊本　熊本交通運輸株式会社
熊本　岱明運輸株式会社
熊本　株式会社永井運送
沖縄　沖縄西濃運輸株式会社

丸二倉庫株式会社(大阪)

ワイン

木箱で輸入してきたワインを温度などを徹底することで、品質管理しています。

松浦通運株式会社(佐賀)

鳥インフルエンザ対応品

防護服、消毒液など鳥インフルエンザが発症時に対応するものすべてを扱っています。使われないことが良いことなのですが、万が一の時に備えて保管しています。畜産王国九州ならでは!

福玉精穀倉庫株式会社(愛知)

麦茶のパッケージ商品

麦茶の煮出し用、水出し用などで早くからパック事業を展開。また、大麦以外の米や雑穀などの製品化にも積極的に取り組んでいます。

藤浪倉庫株式会社(大阪)

だんじりの神輿、献灯台

大阪府南部には、有名なところでは岸和田のだんじりをはじめ、祭りで神輿が多く使用されます。年に1度の事ですが、大切に保管しています。

関東エリア

神奈川　楠原輸送株式会社	神奈川　安全輸送株式会社
神奈川　三工興産株式会社	神奈川　横浜新港倉庫株式会社
神奈川　大宮倉庫株式会社	神奈川　サン インテルネット株式会社
神奈川　田辺倉庫株式会社	

中部・北陸エリア

山梨　甲府倉庫株式会社	愛知　マルハン倉庫株式会社
静岡　株式会社富士ロジテック ホールディングス	愛知　株式会社藤城運輸
	愛知　東海倉庫株式会社
静岡　第一倉庫株式会社	愛知　伊藤倉庫株式会社
静岡　清和海運株式会社	愛知　株式会社大東ロジスティクス
静岡　山一運輸倉庫株式会社	愛知　福玉精穀倉庫株式会社
静岡　株式会社タキ倉庫	愛知　信光陸運株式会社
静岡　船村興産倉庫株式会社	石川　若松梱包運輸倉庫株式会社
愛知　株式会社森吉物流倉庫	福井　株式会社若狭物流
愛知　日本重機産業株式会社	富山　富山倉庫株式会社
愛知　中部日本倉庫株式会社	富山　富山県トラック株式会社

アンケートから見る倉青協

会員が思い描く 50年後の倉庫業イメージ

- 運送手段や物流施設はロボット化や無人化が進むと思われる
- 倉庫内は無人、トラックも無人、仕事はメタバース内で完結
- 自動運転、AI識別等の技術が一般的・安価になり「省人化」が進んでいるかと思います

会社役員

98.4%

会員の多くが代表取締役や取締役・執行役員の方となります。

アンケートから見る倉青協

会員に聞いた 倉庫業以外の事業してますか?

運送業を行っておられる方が1番多くおられました。
2番目は不動産業となりました。
＊アンケート結果に基づきます。

総会・全体会（1973-2023）

全国開催地MAP

倉青協では、倉庫業の発展と
社会的地位の向上を目指し、毎年3回の全体会および
常任幹事会を開催しています。
50周年目の今年、全国レベルで行われてきた
歴史ある全体会もおかげさまで160回を越え、
我々はさらなる業界発展のために
邁進していきます。

九州

博多（福岡）
第7回　1975年 3月14日
第55回　1988年 3月28日
第73回　1994年 3月11日
第100回　2003年 3月13日
第142回　2017年 3月9日・10日
第154回　2021年 4月22日

唐津
第84回　1997年 10月24日

佐賀
第126回　2011年 10月13日

別府
第15回　1977年 2月18日

大分
第112回　2007年 3月28日

長崎
第144回　2017年 10月19日・20日

熊本
第159回　2022年 10月13日・14日

宮崎
第27回　1980年 3月28日

鹿児島
第148回　2019年 3月7日・8日

中国

岡山
第25回　1979年 8月30日
第72回　1993年 10月22日

広島
第11回　1976年 2月13日
第34回　1981年 11月20日
第64回　1991年 3月8日
第99回　2002年 10月16日
第133回　2014年 3月13日

山口
第45回　1984年 11月22日
第124回　2011年 3月10日

四国

松山
第69回　1992年 10月23日
第91回　2000年 3月10日
第139回　2016年 3月10日

高知
第23回　1979年 3月15日
第117回　2008年 11月6日

高松
第49回　1986年 4月18日
第105回　2004年 10月19日

沖縄

沖縄
第10回　1975年 11月1日
第70回　1993年 3月25日
第145回　2018年 3月8日・9日

近畿

大津
第82回　1997年 3月14日

京都
第14回　1976年 10月29日
第26回　1979年 11月18日
第57回　1988年 11月10日
第123回　2010年 10月28日
第151回　2020年 3月5日

奈良
第18回　1977年 11月9日
第85回　1998年 3月5日

大阪
第1回　1973年 7月20日
第46回　1985年 4月18日
第79回　1996年 3月15日
第103回　2004年 3月11日
第136回　2015年 3月5日

神戸
第6回　1974年 10月23日
第22回　1978年 10月27日
第51回　1986年 10月6日
第66回　1991年 10月25日
第88回　1999年 3月1日
第127回　2012年 3月8日
第157回　2022年 4月21日

東海

熱海
第35回　1982年 3月5日

静岡
第29回　1980年 8月8日
第42回　1984年 3月8日
第63回　1990年 10月6日
第109回　2006年 3月23日
第121回　2010年 3月11日
第132回　2013年 10月10日

浜松
第19回　1978年 2月23日

鳥羽
第31回　1981年 2月26日

大垣
第78回　1995年 10月13日

名古屋
第3回　1974年 2月8日
第33回　1981年 8月28日
第61回　1990年 3月17日
第97回　2002年 3月14日
第106回　2005年 4月14日
第138回　2015年 11月11日
第153回　2020年 10月1日

岐阜
第17回　1977年 7月22日

東北

青森
第96回　2001年 9月13日

秋田
第111回　2006年 10月26日

盛岡
第81回　1996年 9月2日

仙台
第9回　1975年 7月21日
第37回　1982年 8月7日
第48回　1985年 10月3日
第75回　1994年 10月13日
第87回　1998年 10月29日
第130回　2013年 3月21日

郡山
第102回　2003年 9月18日
第135回　2014年10月9日・10日

北陸・甲信越

新潟
第147回　2018年 10月11日・12日

石川
第5回　1974年 7月18日
第108回　2005年 10月18日
第141回　2016年 11月10日

富山
第38回　1982年 11月18日
第120回　2009年 11月12日

長野
第54回　1987年 10月3日

軽井沢
第44回　1984年 9月1日

山梨
第115回　2008年 3月6日

関東

水戸
第76回　1995年 3月9日

つくば
第118回　2009年 3月5日

埼玉（大宮）
第94回　2001年 3月14日
第160回　2023年 3月2日

千葉
第59回　1989年 6月14日
（第17回総会）

川崎
第41回　1983年 11月18日・19日

横浜
第8回　1975年 5月21日
（第3回総会）
第30回　1980年 11月17日
第58回　1989年 3月24日
第90回　1999年 10月21日
第156回　2021年 10月21日

箱根
第21回　1978年 8月25日

東京
設立総会　1973年 5月18日
第2回　1973年 10月5日
第4回　1974年 5月14日
（第2回総会）
第12回　1976年 5月28日
（第4回総会）
第16回　1977年 5月20日
（第5回総会）
第20回　1978年 6月14日
（第6回総会）
第24回　1979年 6月14日
（第7回総会）
第28回　1980年 5月28日
（第8回総会）
第32回　1981年 6月17日
（第9回総会）
第36回　1982年 6月24日
（第10回総会）
第39回　1983年 6月17日
（第11回総会）
第43回　1984年 6月22日
（第12回総会）
第47回　1985年 6月21日
（第13回総会）
第50回　1986年 6月20日
（第14回総会）
第53回　1987年 6月17日
（第15回総会）
第56回　1988年 6月24日
（第16回総会）
第62回　1990年 6月22日
（第18回総会）
第65回　1991年 6月20日
（第19回総会）
第68回　1992年 6月19日
（第20回総会）
第71回　1993年 6月26日
（第21回総会）創立20周年式典
第74回　1994年 6月16日
（第22回総会）
第77回　1995年 6月16日
（第23回総会）
第80回　1996年 6月21日
（第24回総会）
第83回　1997年 6月16日
（第25回総会）
第86回　1998年 6月15日
（第26回総会）
第89回　1999年 6月18日
（第27回総会）
第92回　2000年 6月14日
（第28回総会）
第95回　2001年 6月13日
（第29回総会）
第98回　2002年 6月12日
（第30回総会）
第101回　2003年 6月11日
（第31回総会）創立30周年式典
第104回　2004年 7月6日
（第32回総会）
第107回　2005年 7月8日
（第33回総会）
第110回　2006年 6月7日
（第34回総会）
第113回　2007年 6月13日
（第35回総会）
第116回　2008年 6月11日
（第36回総会）
第119回　2009年 6月10日
（第37回総会）
第122回　2010年 6月9日
（第38回総会）
第125回　2011年 6月8日
（第39回総会）
第128回　2012年 6月6日
（第40回総会）
第131回　2013年 6月11日
（第41回総会）創立40周年式典
第134回　2014年 6月13日
第137回　2015年 6月13日
（第43回総会）
（第42回総会）
第140回　2016年 6月10日
（第44回総会）
第143回　2017年 6月9日
（第45回総会）
第146回　2018年 6月8日
（第46回総会）
第149回　2019年 6月7日
（第47回総会）
第152回　2020年 6月12日
（第48回総会）
第155回　2021年 6月25日
（第49回総会）
第158回　2022年 6月2日
（第50回総会）
第161回　2023年 6月9日
（第51回総会）創立50周年式典

北海道

函館
第60回　1989年 8月31日

小樽
第67回　1992年 3月13日

定山渓
第52回　1987年 3月12日

札幌
第13回　1976年 7月20日
第40回　1983年 9月2日
第93回　2000年 9月14日
第114回　2007年 9月19日
第129回　2012年 10月18日
第150回　2019年 10月24日・25日

■p16-39 オフィスラジオ

オフィス・エンニチ
日本で唯一、「社内ラジオ」による社内広報サービスを提供。「声で広報」することで、社長や従業員の想いや考え、人柄までも過不足なく従業員に届けることができるのを特徴とする。ながら聞きができるため、簡単な作業中でも多くの社員に聞いてもらいやすい。そのため、従業員を短期間で会社のファンにすることができると、大小様々な企業から評価されている。
https://office-ennichi.com/

■p16-19　座談会企画

合同会社mano
経営者の抱える様々な悩みを解決する事業を企画・プロデュース。企業の中長期の経営目標や、戦略の立案・策定を行っている。また、ブランディングにおける全体的なコンセプト設計から、広告、WEB、動画などいくつもの専門性を持つクリエイターを総合的に束ねて“伝わる・届く”クリエイティブを制作しビジネスの成果を高めている。
https://mano.llc/

■p16-39・46-49　イラストレーション

ニシモトタクミ
イラストレーター
1993年生まれ。徳島県出身。
2014年-2021年グラフィックデザイナーとしての勤務を経て、現在イラストレーターとして活動中。
装画・挿絵や、その他雑誌、書籍でもイラストを手がける。個人作品では人の何気ない日常を描いている。
@mighty.atom347

倉庫業青年経営者協議会 50周年記念誌

企画・編集　倉庫業青年経営者協議会 企業交流委員会
https://www.souseikyo.com/
ライター　手塚ひとみ
制作　atoDesignOffice
印刷・製本　株式会社 彩匠堂
発行日　2023年6月